ICOM®

取扱説明書

54Mbps
WAVEMASTER®

5GHz 無線LANカード
SL−50

CDに収録の補足説明書には、本章に記載されていない内容についての説明が収録されています。

安全上のご注意 1
ご使用の前に 2
ドライバーのインストール 3
設定ユーティリティーについて 4
アクセスポイントと無線通信する 5
パソコン同士で無線通信する 6
ご参考に 7

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、周波数5GHz帯を使用して、54Mbpsの超高速データ伝送を行う無線LANカードです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようにお願い申し上げます。

ユーザー登録について

本製品のユーザーサポート用愛用者カードに必要事項をご記入いただき、必ずご返送ください。
ご返送いただけない場合、サポートサービスをご提供できませんのでご注意ください。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom.Inc.、 ICOM は、アイコム株式会社の登録商標です。
WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。
Atheros DrivenおよびAtheros Drivenロゴは、Atheros Communications, Inc. の商標です。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本製品の概要について

◎PCカードスロット(CardBus typeⅡ)を装備するパソコン、または弊社指定のアクセスポイントやルータなどに装着できます。

◎最大54Mbpsの通信速度で無線通信が行えます。

◎WEPやAESによる暗号化処理など、高度なセキュリティー機能により、データの安全性を確保します。

◎5GHz帯の周波数を使用していますので、妨害や混信が少なく安心してご使用いただけます。

◎マルチパスに強い地上波デジタルテレビジョン放送と同じ変調(OFDM)方式を採用しています。

◎財団法人　テレコムエンジニアリングセンターの技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許は不要です。

◎Atheros製802.11a規格対応チップセットを搭載しています。

標準構成品

本製品には、下記のものを同梱しています。

- 無線LANカード本体 ……1
- CD(UTILITY DISK) ……1
  (ドライバー、Utility、補足説明書)
- 取扱説明書(本書)
- ユーザーサポート用愛用者カード
- 保証書

お手もとの商品について、ご確認していただき、不足しているものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社営業所サービス係までお問い合わせください。

はじめに

動作環境について

■ 対応PC

PC/AT互換機(DOS/V)

■ Card Bus

PCカードスロット(CardBus typeⅡ)を装備するパソコン

■対応OS

本製品のドライバーと設定ユーティリティーは、次のOSに対応します。
Windows xp Professional
Windows xp Home Edition
Windows 2000 Professional
Windows Millennium Edition
Windows 98 Second Edition

表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「 」表記…オペレーションシステム(OS)、設定ユーティリティー、メニュー、ウィンドウ(画面)の名称を(「」)で囲んで表記します。

[ ] 表記…タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名などを([ ])で囲んで表記します。

〈 〉表記…ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(〈〉)で囲んで表記します。

※本書では、各対応OSに対する記載ついて下記のように総称し、表記しています。
Windows xp、Windows 2000、
Windows Me、Windows 98SE

ご使用までの流れ

本製品を使って無線LANに接続するには、次のステップにしたがって、設定する必要があります。
各ステップの右に記載の数字は、本書の参照ページです。
最低限必要な設定は、この参照ページにしたがって設定を進めてください。

ステップ1 通信形態を確認する ――――――――――――――3

ステップ2 PCカードドライバーの確認 ――――――――――5

ステップ3 ドライバーのインストール ――――――――――6

Windows[xp]の場合(※) ……6
Windows 98SEの場合 ……8
Windows Me/2000の場合 ……12

ステップ4 設定ユーティリティーのインストール ――――15

ステップ5 運用形態により選択

アクセスポイントと無線通信する ――――――――19

パソコン同士で無線通信する ――――――――――20

ご参考に 本製品の取り外し/アンインストール/定格 ――26

※**Windows[xp]の場合、ドライバーのインストール**は、本書で説明するほかのOSとは手順が異なりますのでご注意ください。
設定ユーティリティーの詳細な設定についての説明は、本製品に付属のCDに収められているPDF形式の補足説明書をご覧ください。
PDF形式の補足説明書をご覧になるには、「Acrobat Reader(日本語版)」が必要です。
本製品のCDには、「Acrobat Reader(日本語版)」を収録していますので、ご利用ください。

はじめに

Auto Run機能について

本製品に付属するCDは、Auto Run機能が付いていますので、CDをご使用のCDドライブに挿入すると、自動的にメニュー画面を表示します。
〈終了〉ボタンをクリックすると、メニュー画面を終了します。
CDに収録の補足説明書には、本章に記載されていない内容についての説明が収録されています。

①本製品のCDをご使用のCDドライブに挿入すると、メニュー画面を表示します。
②〈補足説明書〉をクリックします。

※自動でメニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

電波法上のご注意

■電波法により、屋外での使用は禁じられています。
■本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。

取り扱い上のご注意

◎本製品と異なる規格の無線LAN機器(IEEE802.11b：11Mbps無線LAN)などとは通信できません。
◎電波法により、屋外で使用することは禁止されています。
◎パソコンおよび本製品以外の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
◎本製品を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。このようなときは、本製品が装着された機器を、妨害を受けている機器からできるだけ離して設置してください。
◎本製品のドライバーおよび設定ユーティリティーは、本製品以外の機器で使用しないでください。
◎本製品の改変や分解したことによる障害、および故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎本書の著作権およびハードウェア、ソフトウェアに関する知的財産権は、すべてアイコム株式会社に帰属します。
◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
◎本書およびハードウェア、ソフトウェア、外観の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

もくじ

第1章 安全上のご注意(必ずお読みください。) ――――1

第2章 ご使用の前に ――――――――――――――――3

2-1.通信形態を確認する ……3
2-2.各部の名称と機能 ……4
2-3.PCカードドライバーの確認 ……5

第3章 ドライバーのインストール ――――――――6

3-1.Windows^{xp}の場合 ……6
3-2.Windows 98SEの場合……8
3-3.WindowsMe/2000の場合 ……12

第4章 設定ユーティリティーについて ――――――15

4-1.設定ユーティリティーのインストール……15
4-2.起動と終了のしかた……17

第5章 アクセスポイントと無線通信する ――――――19

第6章 パソコン同士で無線通信する ――――――――20

6-1.本製品の基本設定をする……20
6-2.IPアドレスを設定する ……21
6-3.「フル コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定 …24
6-4.「共有フォルダー」の設定……25

第7章 ご参考に ――――――――――――――――26

7-1.本製品を取り外すには……26
7-2.ドライバーのアンインストール……27
7-3.設定ユーティリティーのアンインストール……30
7-4.ドライバーのインストール状態を確認する……31
7-5.Pingコマンドで確認する ……33
7-6.故障のときは……34
7-7.定格……35

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。

- ここに示した注意事項は、使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
- 次の『⚠警告』『⚠注意』の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- お読みになったあとは、いつでも読める場所へ大切に保管してください。

■本製品について

⚠ 警告 下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

◎**指定以外の付属品および別売品は、使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**本製品のコネクター部分に線材のような金属物を入れたり、差し込んだりしないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**製品の分解や改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**本製品の取り付けや取りはずし、保管するときは、赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で行ってください。**
けが、感電の原因になります。

◎**水や海水につけたり、ぬらさないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。

◎**本製品を使用中は、ぬれた手で本製品に触れないでください。**
感電の原因になります。

◎**万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
すぐにパソコンの電源スイッチを切り、本製品を取りはずしてください。
煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社営業所サービス係に連絡してください。

⚠ 注 意 **下記の記載事項は、これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害だけの発生が想定される内容」を示しています。**

◎本製品をパソコンに差し込むときは、本製品の裏と表をまちがえないように十分注意してください。
故障の原因になることがあります。

◎パソコンを運用中に、取扱説明書の指示を無視して、本製品を取りはずさないでください。
故障や、データの消失または破損の原因になることがあります。

◎OSが起動しているあいだは、本製品を取りはずしたり、取り付けたりしないでください。
故障の原因になることがあります。

◎長時間、本製品を使用しないときは、安全のためパソコンから本製品を取りはずしてください。
発熱、発火、故障の原因になることがあります。

◎湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。
火災、感電、故障の原因になることがあります。

◎本製品を落としたり、強い衝撃を与えたり、無理にねじったりしないでください。
けが、故障の原因になることがあります。

◎本製品の上に乗ったり、重い物を載せたり、挟んだりしないでください。
故障の原因になることがあります。

◎テレビやラジオの近くで使用しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

◎本製品を取り付けたパソコンをぐらついた台の上や、傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして火災、けが、故障の原因になることがあります。

◎清掃するときは、シンナーやベンジンを絶対使用しないでください。
ケースが変質したり、塗料がはげる原因になることがあります。
普段はやわらかい布で、汚れのひどいときは水で薄めた中性洗剤を少し含ませてふいてください。

◎強い磁界や静電気の発生する場所、温度、湿度がパソコンの取扱説明書に定めた使用環境を超える、または結露するところでは使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

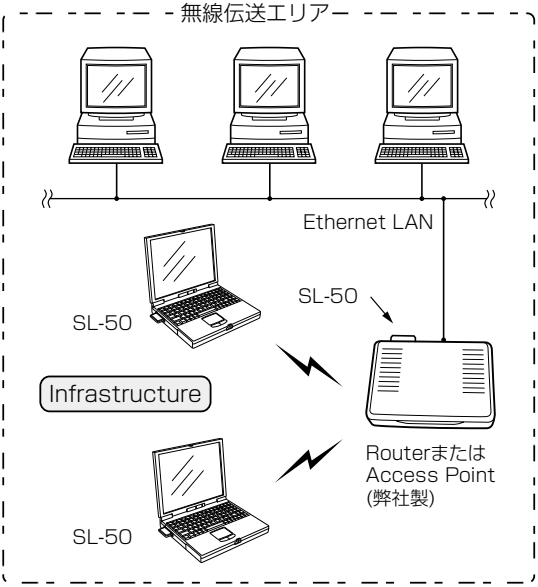
2-1 通信形態を確認する

本製品は、ご使用の環境によって、次のどちらかの**「無線通信モード」**が選べます。
※出荷時は、「インフラストラクチャ」モードに設定されています。

■アクセスポイントと無線通信する：「インフラストラクチャ」モード(☞5章)

本製品を装着するパソコンから弊社製無線アクセスポイントや無線ルータにアクセスして、無線と有線が混在するネットワークを構築するとき使用します。

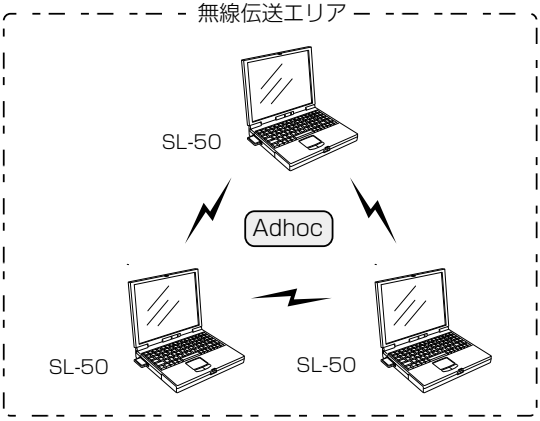
※同じ無線ネットワークグループとして接続できる台数は、ご使用になる弊社製無線LAN機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



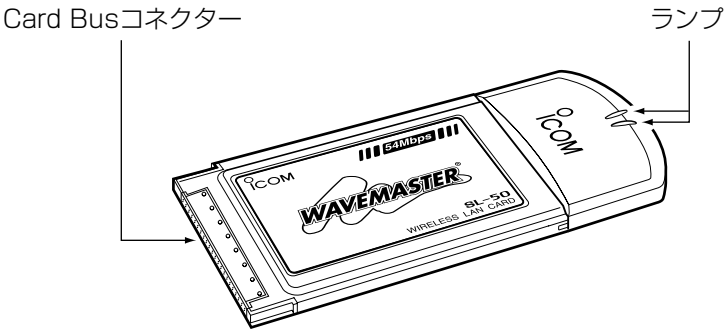
■パソコン同士が無線で直接通信する：「アドホック」モード(☞6章)

本製品を装着するパソコンだけで無線LANを構築するとき使用します。

※最大40～50台を同じ無線ネットワークグループとして接続できますが、頻繁に通信をするような環境では、接続台数を10台以下にすることをおすすめします。



2-2 各部の名称と機能



【ランプと無線LANカードの状態】

ランプ	無線LANカードの状態
同時に高速で点滅	送受信しているデータ量が多いとき
同時にゆっくり点滅	送受信しているデータ量が少ないとき
交互にゆっくり点滅	無線伝送可能なエリアを外れた場合など、通信できる無線LAN機器を探しているとき
消灯	本製品に電源が供給されていないとき

【CardBusコネクター】

パソコン本体などに装備されたPCカードスロット(CardBus typeⅡ)に接続する端子です。

※金属片やゴミがコネクターに付着していないことを確認してから装着してください。

【ご参考に】

◎本製品は、CardBus対応のPCカードスロットを装備するパソコン、または本製品に対応する弊社製無線アクセスポイントや無線ブロードバンドルータと併せてご使用いただけます。

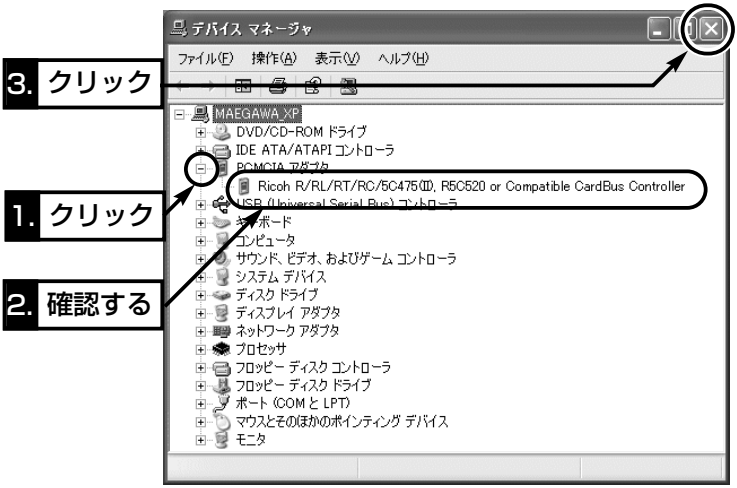
◎OSが「Plug and Play」に対応していますので、パソコンのOSが起動した状態で本製品を装着できます。

2-3 PCカードドライバーの確認

本製品を取り付けてドライバーをインストールする前に、32ビットPCカードドライバーの状態を、次のWindows^{xp}の手順を例に確認してください。
PCカードアダプターを標準装備していないパソコンは、特に注意してください。

【確認の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[マイコンピュータ](右クリック)→「プロパティ(R)」の順にクリックします。
   - 「システムのプロパティ」を表示します。
2. [ハードウェア]タブ→〈デバイス マネージャ(D)〉の順にクリックします。
   - 「デバイス マネージャ」を表示します。
3. 「PCMCIAアダプタ」の⊞をクリックします。
   「PCMCIAアダプタ」の中に表示されるデバイスのアイコンに「!」や「×」マークが付いていないことを確認します。
   ※「PCMCIAアダプタ」の中に表示されるデバイス名は、パソコンによって異なります。
4. 「!」や「×」マークが付いていなければ、〈×〉をクリックして、画面を閉じます。
   次ページの「3 ドライバーのインストール」に進みます。



※「PCMCIAソケット」の中に表示されるデバイス名に「!」や「×」マークが付いている場合は、ご使用のPCカードアダプターに付属する取扱説明書にしたがって、PCカードドライバーを再インストールしてください。

3 ドライバーのインストール

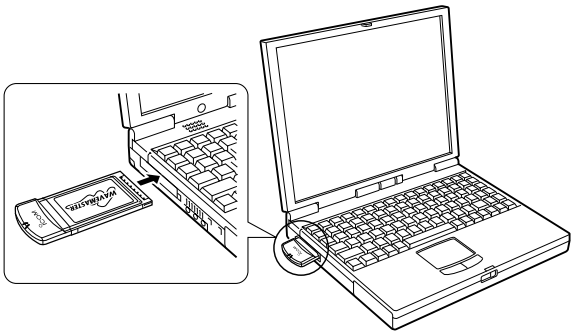
3-1 Windows^{xp} の場合

本製品のドライバーをインストールする手順について説明します。
本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

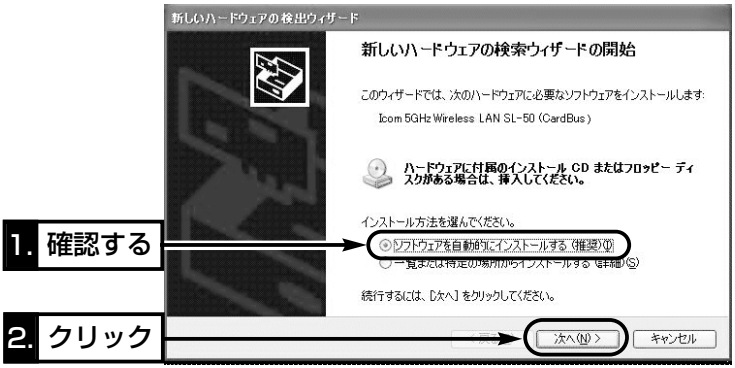
1.パソコンの電源を入れて、管理者権限でログオンします。
2.現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。
3.本製品に付属のCDをCDドライブ[D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。
4.CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面を表示します。
5.このOSは、メニュー画面からインストールを行いませんので、〈終了〉ボタンをクリックします。

6.本製品をパソコンのCard Bus対応PCカードスロットに、WAVEMASTERのシールが貼られた面を上にして挿入します。
なお、メーカーによっては異なることがありますので、ご注意ください。
※パソコンのタスクバーには、右の画面を表示します。



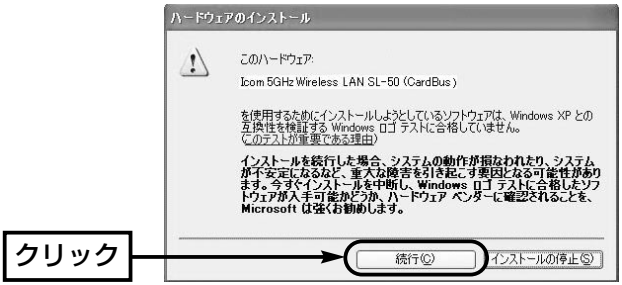
※本製品は、CardBus対応のPCカードスロットに装着してください。

7.設定内容を確認して、〈次へ(N)〉をクリックします。

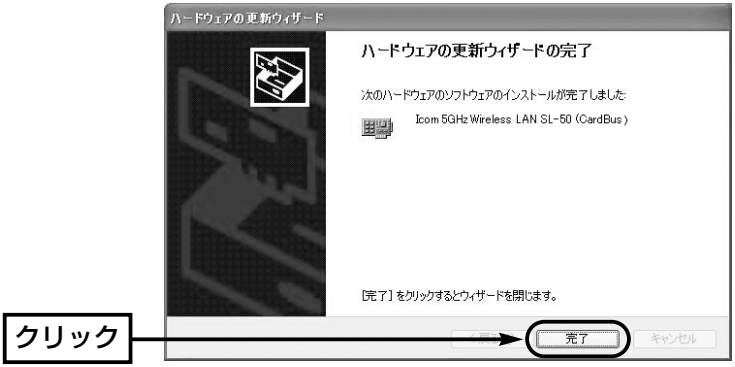


8.ドライバーを検索する画面を表示中に、次の画面が表示されますので、〈続行(C)〉をクリックします。

- インストールを開始します。



9.〈完了〉をクリックします。



3-2 Windows 98SEの場合

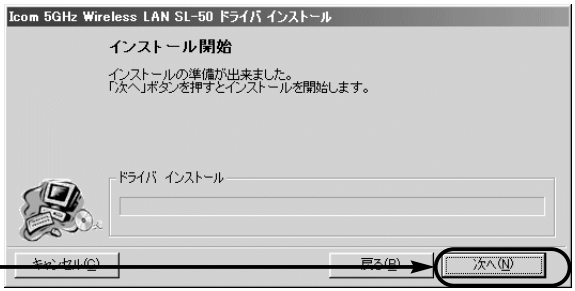
本製品のドライバーをインストールする手順について説明します。
本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

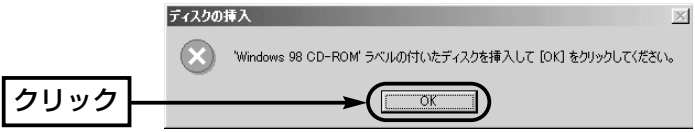
1.現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。
2.本製品のCDをパソコンのCDドライブ[D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。
3.CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面が表示されます。

※メニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。
4. 〈ドライバ　インストール〉ボタンをクリックします。
5. 〈次へ(N)〉をクリックします。

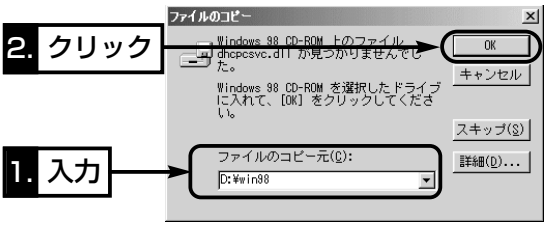
6. 〈次へ(N)〉をクリックします。
● インストールを開始します。



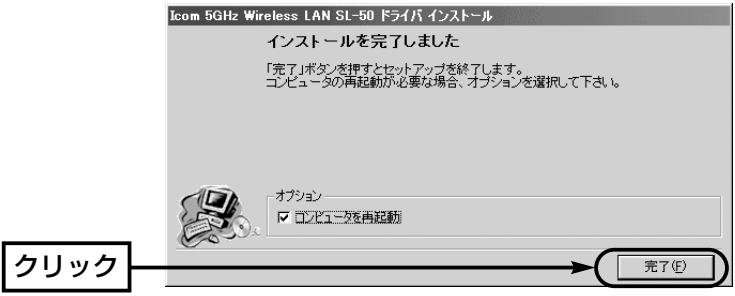
7. 〈OK〉 をクリックします。



8. 本製品のCDとOSのCD-ROMを入れ替えて、CDドライブ名[D:]とそのフォルダー(D:¥Win98)を指定してから〈OK〉をクリックします。



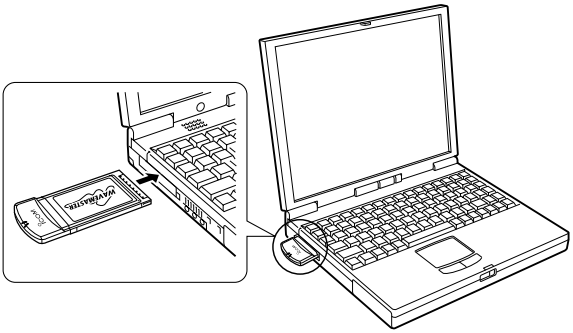
9. 〈完了(F)〉 をクリックします。



3-2 Windows 98SEの場合

【インストールの手順】(つづき)

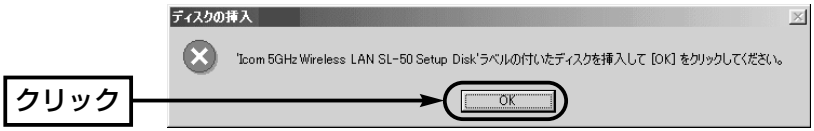
10.本製品をパソコンのCard Bus対応PCカードスロットに、WAVEMASTERのシールが貼られた面を上にして挿入します。
なお、メーカーによっては異なることがありますので、ご注意ください。



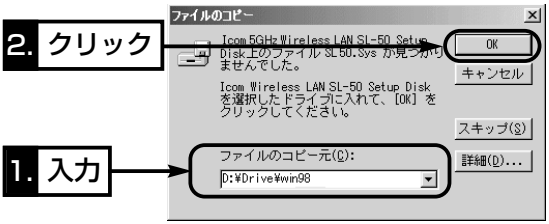
※本製品は、CardBus対応のPCカードスロットに装着してください。

11.パソコンが本製品を自動的に認識して、次の画面を表示します。

12.〈OK〉をクリックします。



13.本製品のドライバーが収められたCDのCDドライブ名[D:]とそのフォルダー(D:¥Driver¥win98を指定してから、〈OK〉をクリックします。



14.手順7.～8.の画面が表示されたときは、同じ操作を行います。

15.本製品に付属のCDをCDドライブから取り出して、パソコンを再起動すると完了です。

16.再起動後、「ネットワークのパスワード入力」画面が表示されたときは、[ユーザー名(U)]と[パスワード(P)]をテキストボックスに入力してから、〈OK〉をクリックします。

3-3 Windows Me/2000の場合

本製品のドライバーをインストールする手順について説明します。
本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

1.パソコンの電源を入れます。
※Windows2000は、管理者権限でログオンします。

2.現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。

3.本製品のCDをパソコンのCDドライブ[D:](以後CDドライブをDとする)に挿入します。

4.CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面が表示されます。

※メニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

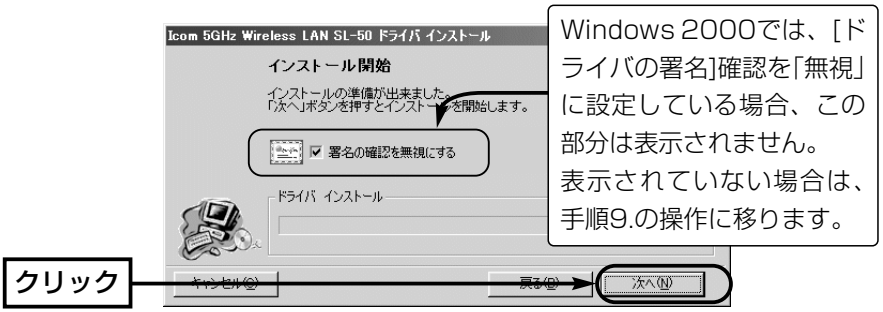
5. 〈ドライバ　インストール〉ボタンをクリックします。

6. 〈次へ(N)〉をクリックします。

7. 〈次へ(N)〉をクリックします。

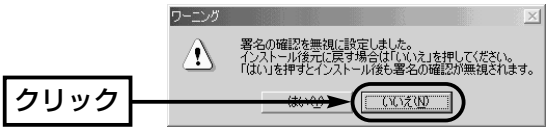
●インストールを開始します。

※Windows Meのかたは、手順9.の操作に移ります

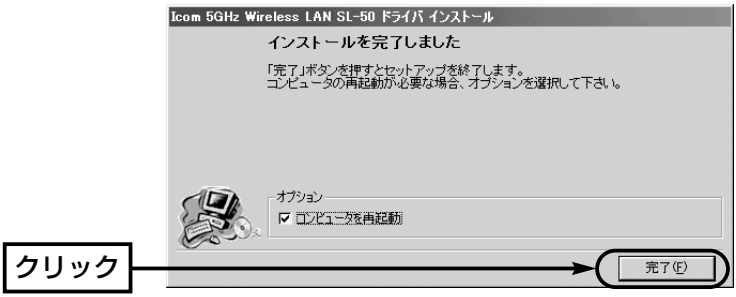


8. 〈いいえ(N)〉をクリックします。

※次回のインストールから、[ドライバの署名]確認の画面を表示させない場合は、〈はい(Y)〉をクリックしてください。



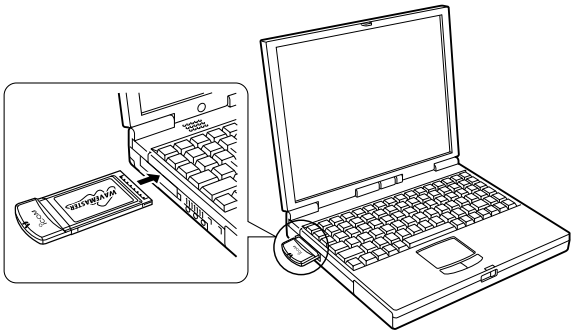
9. 〈完了(F)〉をクリックします。



3-3 Windows Me/2000の場合

【インストールの手順】(つづき)

10.本製品をパソコンのCard Bus対応PCカードスロットに、WAVEMASTERのシールが貼られた面を上にして挿入します。
なお、メーカーによっては異なることがありますので、ご注意ください。



※本製品は、CardBus対応のPCカードスロットに装着してください。

11.パソコンが本製品を自動的に認識して、次の画面を表示します。

12. Windows 2000で、次の画面が表示されたときは、〈はい(Y)〉をクリックします。
本製品に付属のCDをCDドライブから取り出すと完了です。

クリック

4-1 設定ユーティリティーのインストール

本製品の無線通信モード(☞2-1章)やセキュリティの設定などが行えるソフトウェアです。

この章では、設定ユーティリティーをインストールする手順について説明します。

本製品を使って通信するすべてのパソコンにインストールしてください。

【インストールの手順】

※Windows^{xp}、Windows2000は、管理者権限でログオンしてください。

1.現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。

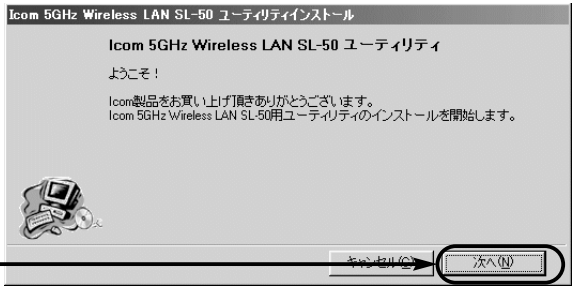
2.本製品のCDをパソコンのCDドライブに挿入します。

3.CDドライブのAuto Run機能が動作して、メニュー画面が表示されます。

※メニュー画面を表示しないときは、本製品のCDに収録された「AutoRun.exe」をダブルクリックしてください。

4.〈ユーティリティ　インストール〉ボタンをクリックします。

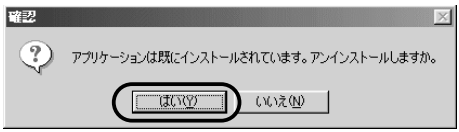
5.〈次へ(N)〉をクリックします。



■再インストールするときは

上記インストール手順1.～5.の操作を再度行います。

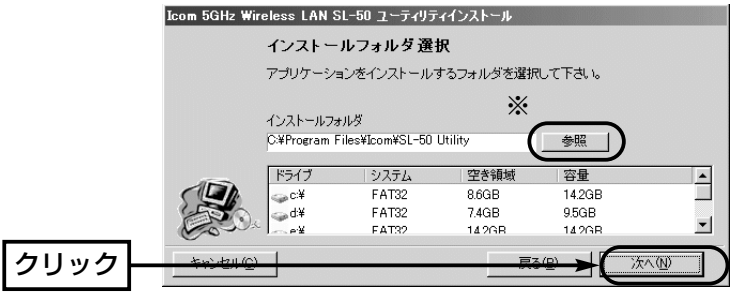
手順5.の操作をして表示される右記の画面にしたがうと、設定ユーティリティーがアンインストールされ、引き続き表示される画面(☞次ページ手順6.)でインストールが行えます。



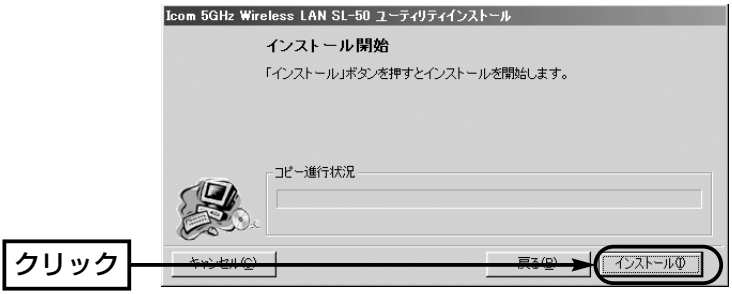
4 設定ユーティリティーについて

4-1 設定ユーティリティーのインストール
【インストールの手順】(つづき)

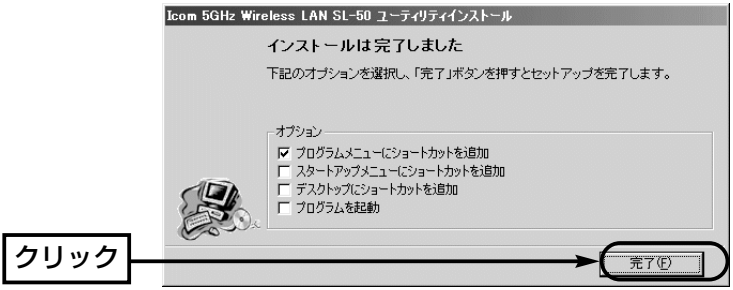
6.設定ユーティリティーのインストール先のフォルダーに変更がなければ、〈次へ(N)〉をクリックします。
※インストール先のフォルダーを変更したいときは、〈参照〉をクリックしてインストールするフォルダーを指定します。



7.「確認」画面を表示しますので、〈OK〉をクリックします。
8. 〈インストール(I)〉をクリックします。



9. 〈完了〉をクリックすると、インストールが完了します。



4-2 起動と終了のしかた

パソコンにインストールされた設定ユーティリティーの起動と終了のしかたについて説明します。

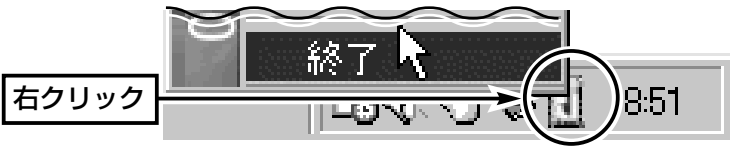
【起動の手順】

1.本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。
※挿入されていない状態では、カードを設定できません。

2.マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[SL-50 Utility]の順に操作すると、設定ユーティリティーが起動して常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示されると起動が完了です。
※アイコンの意味については、18ページをご覧ください。

3.タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
※タスクバー上に表示されたアイコンをダブルクリックしても起動できます。

4.終了するときは、カーソルをそのアイコンの上に移動して、右クリックすると表示されるメニューから「終了」を選択します。



4-2 起動と終了のしかた(つづき)

■タスクバーに表示されるアイコンの意味

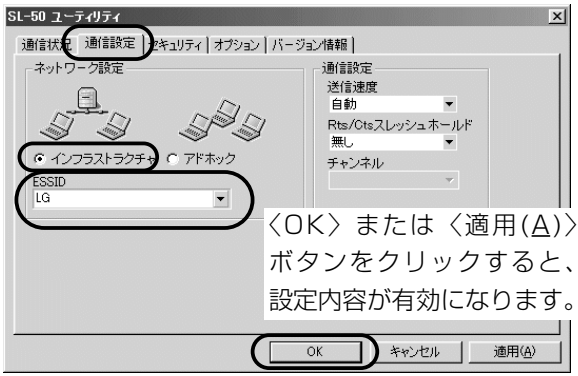
通信中	本製品を接続するパソコンが、無線ネットワークに正常に接続された状態
スキャン中	無線通信モードがインフラストラクチャのとき表示されるアイコンです。 本製品と接続するパソコンが、通信できる無線アクセスポイントの無線伝送エリアを外れた状態か、無線アクセスポイントを探している状態
アダプタが見つかりません	本製品がパソコンに装着されていない、または本製品の装着を認識していない状態
アダプタは正しく動作していません	本製品が接続されているが、ドライバーが正しくインストールされていないなどの理由で装着を認識できない状態

■無線アクセスポイントについて

無線アクセスポイントは、電源を入れた状態にしておいてください。
無線アクセスポイントは、DHCPサーバ機能を使用して通信するものとします。
また、本製品のドライバーをインストール(☞3章)した状態のパソコンは、IPアドレスをDHCPサーバから自動取得できる設定になっています。

■本製品の基本設定をする

設定ユーティリティーを起動(☞4-2章)して、下記の基本設定項目を設定を行うと、アクセスポイントと無線通信できます。
※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。



【基本設定項目】アクセスポイントと通信を行うために必要な設定項目です。

無線通信モード …… ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。
無線アクセスポイントとの通信は、「インフラストラクチャ」に設定します。
(出荷時の設定：インフラストラクチャ)

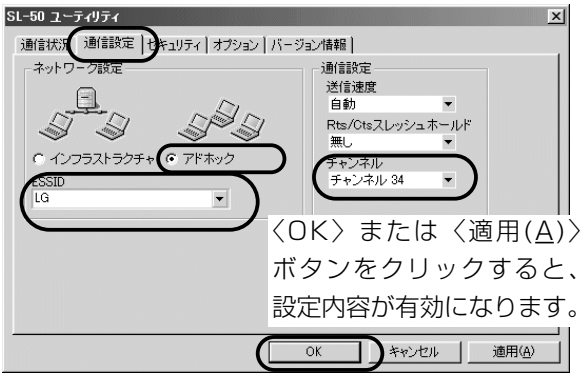
ESS ID …… 本製品と無線アクセスポイントには、通信相手をグループとして識別するための無線ネットワーク名として、ESS IDが設定されています。
(出荷時の設定：LG〈半角〉)
同じグループで通信するお互いの無線LAN機器で、この[ESS ID]が異なると通信できません。
※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

6 パソコン同士で無線通信する

6-1 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティーを起動(☞4-2章)して、下記の基本設定項目を設定します。
※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。

【基本設定項目】パソコン同士で無線通信を行うために必要な設定項目です。
※基本設定が完了したら、本書6-2章～6-4章の設定を行ってください。



無線通信モード

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。
パソコン同士での通信は、「アドホック」に設定します。　　(出荷時の設定：インフラストラクチャ)

ESS ID

通信する本製品同士をワークグループとして識別するための無線ネットワーク名として、ESS IDが設定されています。　　(出荷時の設定：LG〈半角〉)
同じワークグループで通信する本製品同士で、この[ESS ID]が異なると通信できません。
※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

チャンネル

「アドホック」モードで通信するとき使用するチャンネルです。　　(出荷時の設定：チャンネル34)
無線伝送エリア内に複数のワークグループがある場合は、それぞれのワークグループで別々のチャンネルを設定してください。

6-2 IPアドレスを設定する

本書6-1章で基本設定したパソコン同士が無線通信を行うには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

※Windows[xp]以外のOSでの設定手順は、補足説明書をご覧ください。

【設定の手順】

1.設定に使用するパソコンを起動します。
- 「ログオン」画面を表示します。

2.管理者のユーザー名でログオンします。

3.パソコンが起動したら、マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。

4.コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

5.[ネットワーク接続]アイコンをクリックします。

【IPアドレスの指定について】
- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのIPアドレスは、重複しないように設定してください。
- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのサブネットマスクは、同じ値を設定してください。
- 小規模なネットワーク(253台まで)でご使用になる場合は、プライベートアドレスとして192.168.0.0～192.168.255.255を使用します。なお、192.168.×××.0(ネットワークアドレス)と192.168.×××.255(ブロードキャストアドレス)は、特別なアドレスとして扱われますので、パソコンには、割り当てないでください。(×××：0～255)

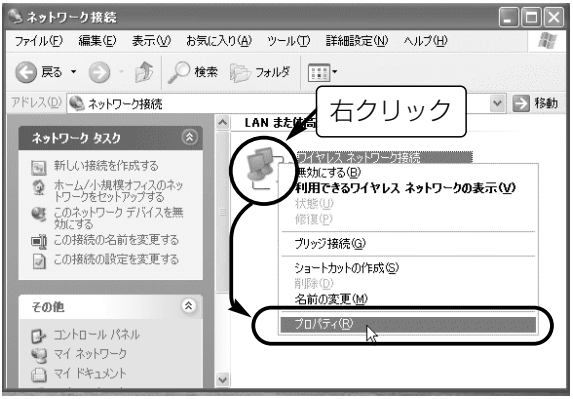
3台のパソコンで無線LANを構成するときは、以下のようになります。

パソコンA：192.168.0.10(サブネットマスク：255.255.255.0)
パソコンB：192.168.0.11(サブネットマスク：255.255.255.0)
パソコンC：192.168.0.12(サブネットマスク：255.255.255.0)

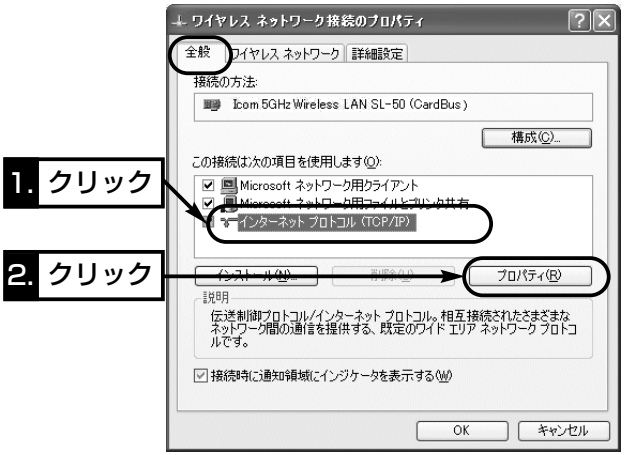
6-2 IPアドレスを設定する

【設定の手順】(つづき)

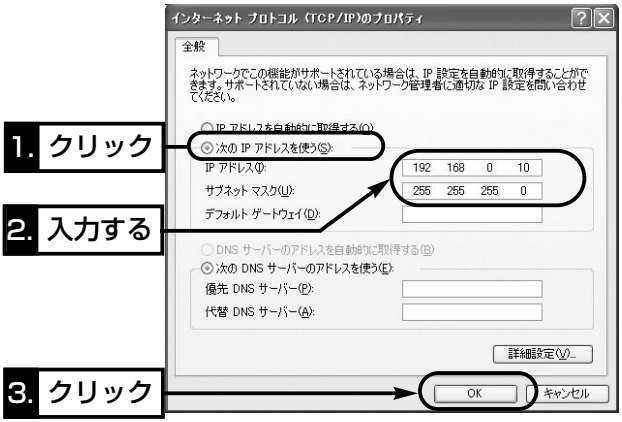
6.本製品の名称が表示された[ワイヤレスネットワーク接続]アイコンを右クリックして、表示されるメニューから[プロパティ(R)]をクリックします。



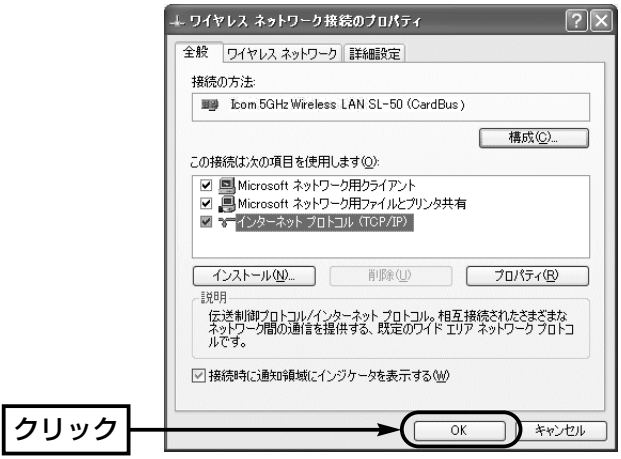
7.「インターネットプロトコル(TCP/IP)」をクリックして、〈プロパティ(R)〉をクリックします。



8.[次のIPアドレスを使う(S)]のラジオボタンをクリックして、チェックマークを入れます。
[IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力して、〈OK〉をクリックします。



9.手順7.の画面で〈OK〉をクリックします。



6-3 「フル コンピュータ名」と「ワークグループ」の設定

※Windows^{xp}以外のOSでの設定手順は、補足説明書をご覧ください。

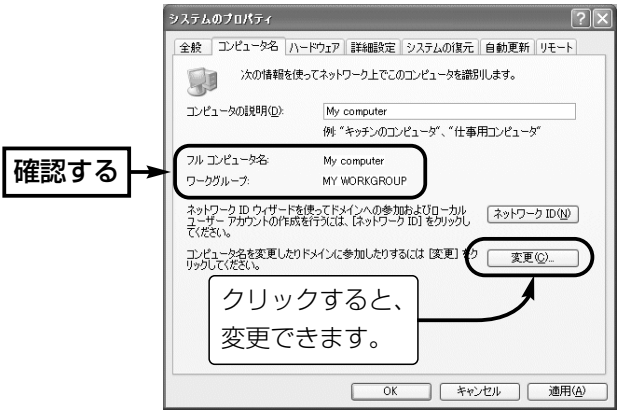
【設定の手順】

1.本書6-2章の手順(1.～6.)で、[ネットワーク接続]画面を表示させます。

2.「詳細設定(N)」から[ネットワークID(N)]をクリックします。

3.[フル コンピュータ名:]と[ワークグループ:]の変更が必要な場合は、〈変更〉をクリックして表示される画面で変更できます。

※入力は、半角英数字で行います。



【フル コンピュータ名：】ネットワーク上で、パソコンごとに識別用の名前を入力します。なお、同じネットワークグループのパソコンと重複しないように設定してください。

【ワークグループ：】同じ名前を設定したパソコンが、ネットワーク上で同じネットワークグループとして認識されます。

同じグループ名を通信の対象となるすべてのパソコンに設定してください。

異なる名前を設定すると通信できません。

【コンピュータの説明(D)：】必要があれば、任意に入力します。

6-4「共有フォルダー」の設定

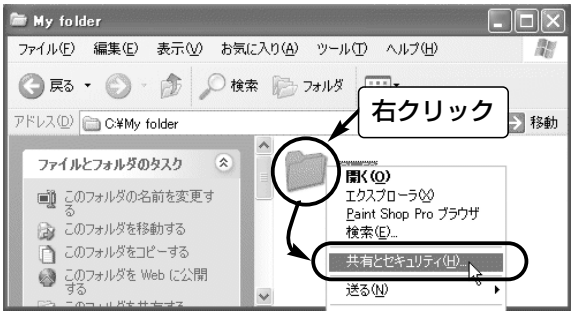
パソコンのドライブまたはフォルダーを相手先に公開するには共有フォルダーの設定が必要です。

※Windows[xp]以外のOSでの設定手順は、補足説明書をご覧ください。

【設定の手順】

1.[マイコンピュータ]アイコンなどから、共有したいフォルダーのあるウィンドウを開きます。

2.共有したいフォルダー上にカーソルを移動して右クリックします。
表示されたメニューから[共有とセキュリティ(H)...]をクリックします。



3.[ネットワーク上での共有とセキュリティ]の設定内容を変更して、〈OK〉をクリックします。

- 共有設定したフォルダーには、共有を示すアイコンが表示されます。

7 ご参考に

7-1 本製品を取り外すには

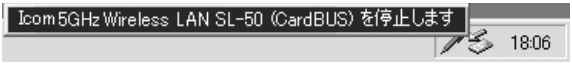
パソコンの電源を入れたまま、本製品を取り外す手順について説明します。
なお、パソコンの電源が切れているときは、パソコンの取扱説明書にしたがって本製品をPCカードスロットから取り外してください。
パソコンの電源が入っているときは、次の手順を守らないと、システムが暴走することがあります。

【取り外すときの手順】

1.タスクバーに表示された「ハードウェア取り外し」アイコン→「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50(CardBus)」の順にクリックします。

[Windows xp]

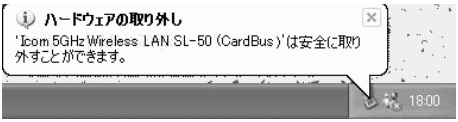
[Windows Me]
[Windows 2000]



[Windows 98SE]

2. 〈OK〉 をクリックします。
※Windowsxpの場合、下記の画面が表示されていることを確認するだけです。

[Windows xp]



[Windows Me]
[Windows 2000]

[Windows 98SE]

3.PCカードスロットから本製品を取り外します。
※再度使用するときは、本製品を装着するだけで使用できます。

7-2 ドライバーのアンインストール

本製品のドライバーをパソコンからアンインストールする手順を説明します。

■Windows[xp]の場合

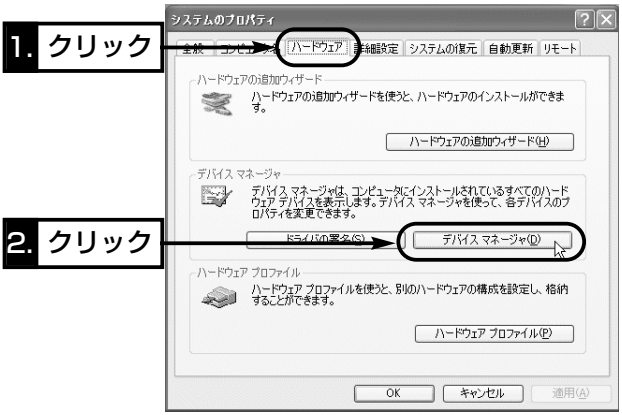
【アンインストールの手順】

※本製品をPCカードスロットに装着した状態で行ってください。

1.マウスを〈スタート〉→[マイコンピュータ](右クリック)→「プロパティ(R)」の順にクリックします。

●「システムのプロパティ」を表示します。

2.[ハードウェア]タブ→〈デバイスマネージャ(D)〉の順にクリックします。

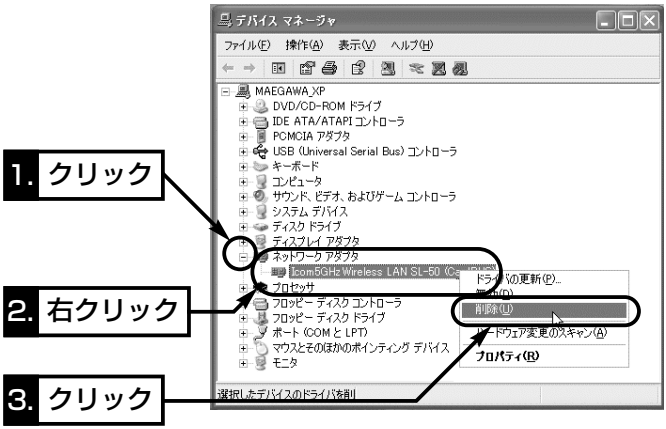


7-2 ドライバーのアンインストール

■Windows^{xp}の場合【アンインストールの手順】(つづき)

3.「ネットワークアダプタ」の ⊞ をクリックします。

「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」→〈削除(U)〉の順にクリックします。



4. 〈OK〉をクリックします。

7-2 ドライバーのアンインストール(つづき)

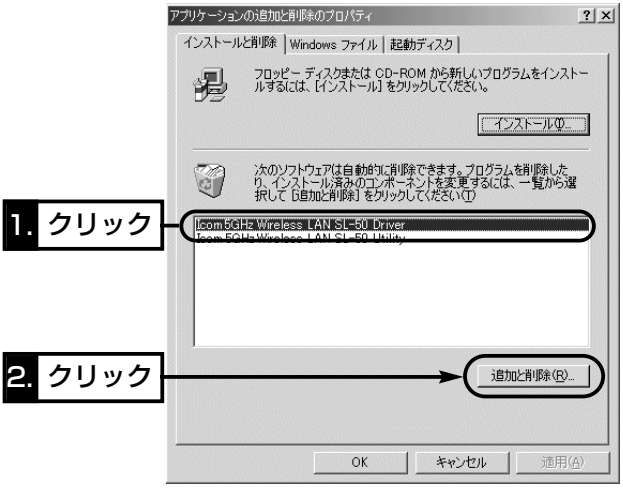
■Windows 98SE/Me/2000の場合

【アンインストールの手順】

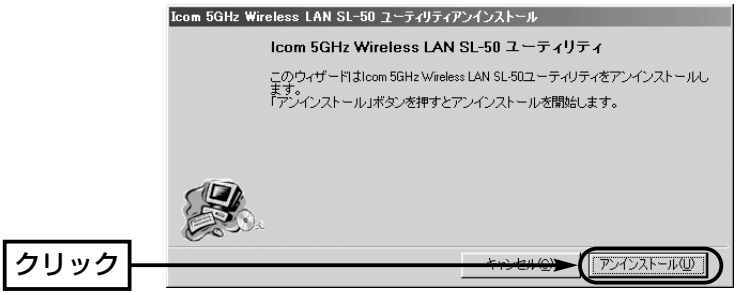
1.本製品を取り外します。(☞「7-1 本製品を取り外すには」を参照)

2.マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[アプリケーションの追加と削除]の順に操作します。(※画面はWindows Meのものです。)

3.「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 Driver」→〈追加と削除(R)...〉の順にクリックします。



4.〈アンインストール(U)〉をクリックして、表示する画面にしたがいます。



7-3 設定ユーティリティーのアンインストール

Windows[xp]を例に、設定ユーティリティーをパソコンからアンインストールする手順を説明します。

※そのほかのOSをご使用の場合は、この手順を参考に、そのOSで「アンインストールする」ときの手順にしたがってください。

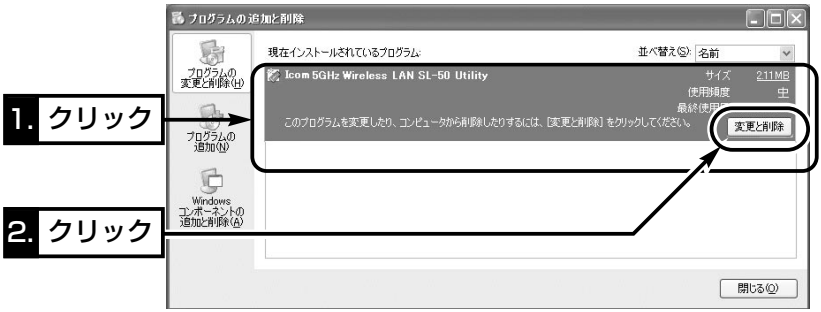
【アンインストールの手順】

※設定ユーティリティーを終了させてから操作してください。

1.マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。

2.コントロールパネルから、[プログラムの追加と削除]をクリックします。

3.「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 Utility」→〈変更と削除〉の順にクリックします。



4.〈アンインストール(U)〉をクリックして、表示する画面にしたがいます。

7-4 ドライバーのインストール状態を確認する

Windows[xp]を例に、ドライバーのインストール後、本製品が正常に動作していることを確認する手順を説明します。

※本製品をPCカードスロットに装着した状態で行ってください。

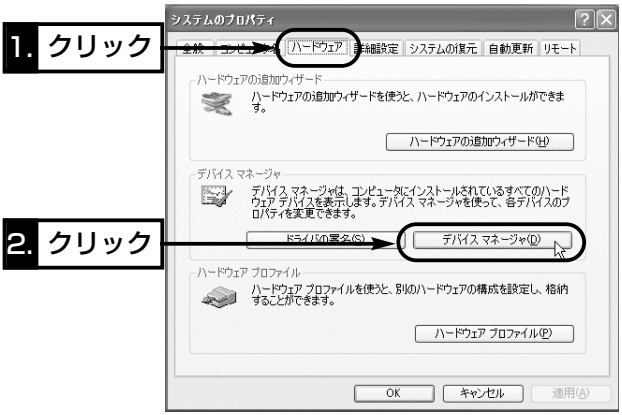
※そのほかのOSをご使用の場合は、この手順を参考に、そのOSで「ドライバーのインストール状態を確認する」ときの手順にしたがってください。

【確認の手順】

1.マウスを〈スタート〉→[マイコンピュータ](右クリック)→「プロパティ(R)」の順にクリックします。

●「システムのプロパティ」を表示します。

2.[ハードウェア]タブ→〈デバイスマネージャ(D)〉の順にクリックします。

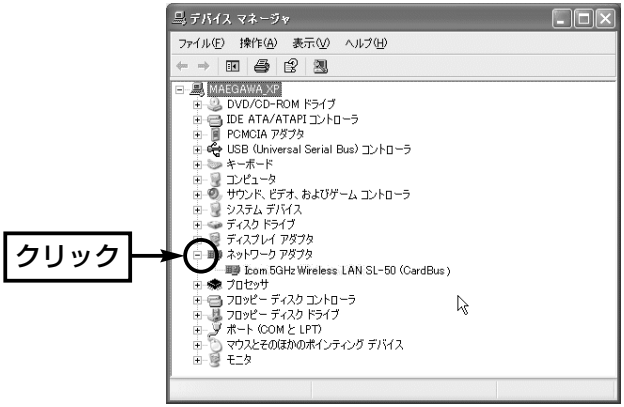


7-4 ドライバーのインストール状態を確認する

【確認の手順】(つづき)

3.「ネットワークアダプタ」の[+]をクリックします。

- ドライバーが正しくインストールされていると、「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」を、画面のように表示します。



※上記画面で「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」のアイコンに「!」や「×」マークがついていたり、「？その他のデバイス」という項目に「Icom 5GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」が表示されているときは、ドライバーの再インストールを行ってください。

■ドライバーの再インストールについて

Windows^{xp}の場合は、ドライバーを本書6-2章の手順にしたがってアンインストールしてから、再インストールしてください。

Windows 98SE/Me/2000の場合は、本製品をとりはずしてから、本書3章の手順で再度インストールウィザードにしたがって操作すると、アンインストールウィザードが表示されます。

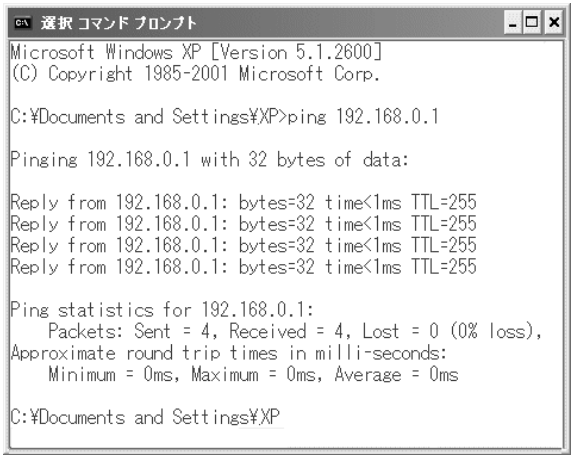
表示されたその画面にしたがって再インストールしてください。

7-5 Pingコマンドで接続を確認する

IPパケットが通信先に正しく届いているかを、次の操作で確認できます。
Windows[xp]を例に、以下の操作手順を説明します。

【操作の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]の順に操作します。
2. キーボードからPingコマンドを入力して、[Enter]キーを押します。
   ※相手先のIPアドレスを「192.168.0.1」とすると、下記のようになります。
   ping 192.168.0.1と入力して、[Enter]キーを押します。
3. 接続が正常なときは、画面のような結果を表示します。
   ※画面中に表示される数値については、ご使用のネットワーク環境によって異なります。



7-6 故障のときは

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●修理を依頼されるとき

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品とパソコンの設定などを調べていただき、それでも具合の悪いときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にご連絡ください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●アフターサービスについてわからないときは

お買い上げの販売店または弊社各営業所サービス係にお問い合わせください。

アイコムの無線LAN製品について、お客様の疑問・質問にお答えするコールセンターを土日祝日も含めて開設しています。
本製品は、弊社コールセンターのサポート対象製品です。
ご不明な点がございましたら、下記まで、お気軽にお問い合わせください。

コールセンター

TEL　06−6795−1770 (＊通話料はお客様負担となります。)

営業時間：平日･土日祝日　9：00〜12：00、13：00〜17：00
(※年末・年始、お盆休みを除きます。)

■Eメール、FAX、郵便によるお問い合わせも受け付けております。

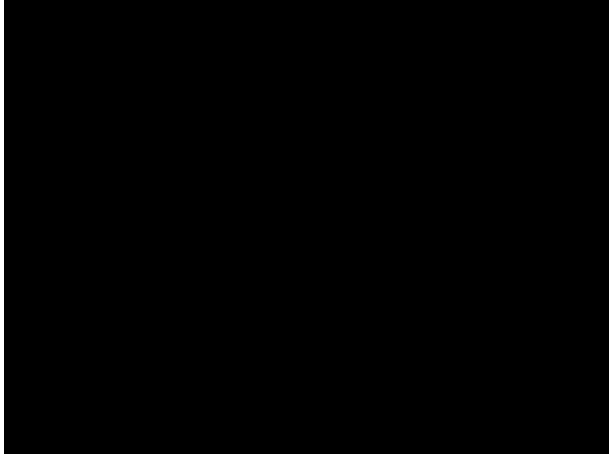
- **Eメール：**support_center@icom.co.jp
- **F A X：**06−6793−3336
- **住　所：**〒547−0004
  大阪市平野区加美鞍作 1−6−19
  アイコム(株)　コールセンター宛

7-7 定　格

- 国　　際　　規　　格：IEEE 802.11a準拠
- 国　　内　　規　　格：ARIB STD-T71
- 通　　信　　方　　式：単信方式
- 電　　波　　方　　式：直交周波数分割多重方式(OFDM)
- 周　波　数　帯　域：5GHz帯(5.15～5.25GHz)
- チ　ャ　ン　ネ　ル：全4ch(34ch/38ch/42ch/46ch)
- 通　　信　　速　　度：自動/54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
- 最　大　伝　送　距　離：約55m(屋内)
- 暗　　号　　化　　処　　理：Wired Equivalent Privacy(WEP：RC4)
  Advanced Encryption Standard(AES)
- 使　用　温　度　条　件：0～+50℃
- 保　存　温　度　条　件：−20～+70℃(結露しないこと)
- 内　蔵　ア　ン　テ　ナ：丸型平面アンテナ
- 入　　力　　電　　圧：DC3.3V±0.5V
- 消　　費　　電　　流：600mA(Max.)
- 外　　形　　寸　　法：118(W)×10(H)×54(D)mm
- 重　　量：約40g(付属品を除く)
- 対　　応　　機　　種：PC/AT互換機(DOS/V)
- 対　　応　　O　　S：Windows xp、Windows 2000、
  Windows Me、Windows 98SE
- 送　　信　　出　　力：10mW/MHz以下
- 受　　信　　感　　度：−65dBm以下(フレームエラーレート=10%)
- 復　　調　　方　　式：OFDM復調
- スプリアス妨害限度：4nW以下(1 GHz未満)　20nW以下(1 GHz以上)

※ 伝送距離は、通信速度や環境によって異なります。
※ 電波法により、屋内使用に限定されます。
※ 定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

高品質がテーマです。



アイコム株式会社

本　　社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	060-0041	札幌市中央区大通東9-14	TEL 011-251-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

A-6191X-1J-②
Printed in Taiwan

© 2002 Icom Inc.

ICOM®

補足説明書

54Mbps
WAVEMASTER®

5GHz 無線LANカード

SL−50

本章は、取扱説明書に記載されていない
内容と追加機能について説明しています。

設定ユーティリティーについて 1

パソコン同士で無線通信する 2

ご参考に 3

Icom Inc.

もくじ

第1章 設定ユーティリティーについて ——————1

1-1 [通信状況]タブ ……1
1-2 [無線ネット表示]タブ ……2
1-3 [通信統計]タブ ……4
1-4 [通信設定]タブ ……6
1-5 [セキュリティ]タブ ……9
1-6 [オプション]タブ ……13
1-7 [プロファイル]タブ ……14
1-8 [バージョン情報]タブ ……16

第2章 パソコン同士で無線通信する ——————17

2-1 Windows 98SE/Meの場合……17
■本製品の基本設定をする ……17
■IPアドレスを設定する ……18
■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定 ……20
■「共有フォルダー」の設定 ……21
2-2 Windows 2000の場合……22
■本製品の基本設定をする ……22
■IPアドレスを設定する ……23
■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定 ……25
■「共有フォルダー」の設定 ……27
■「ユーザー登録」の設定 ……29

第3章 ご参考に ——————————30

3-1 無線ネットワークへの接続を確認する……30
■Windows XPの場合 ……30
■Windows 98SE/Meの場合……32
■Windows 2000の場合……33
3-2 トラブルシューティング ……34

1-1 [通信状況]タブ

通信状況の表示やDHCPサーバからIPアドレスを再取得するとき使用します。

■ステーション

本製品のMACアドレスおよびIPアドレスを表示します。

※MACアドレスは、それぞれのネットワーク製品に割り当てられた固有のもので、同じアドレスは存在しません。弊社製アクセスポイントにこのアドレスを登録することで、その他のMACアドレスを持つ無線LANカードからアクセスできないように制限することができます。

■接続状況

現在の設定や通信状態を表示します。「インフラストラクチャ」モードで使用時、通信エリア内に無線アクセスポイントを見つけられないときは、「スキャン中」と表示されます。

■アクセスポイント

「インフラストラクチャ」モードで通信が行われているときは、本製品がアクセスできるアクセスポイント側の情報を表示します。

■電波の品質(強度)

無線アクセスポイントから受信できる電波の強さを表示するエリアです。

※「アドホック」モードで使用時は、表示していますが機能しません。

■〈IPアドレス更新〉ボタン

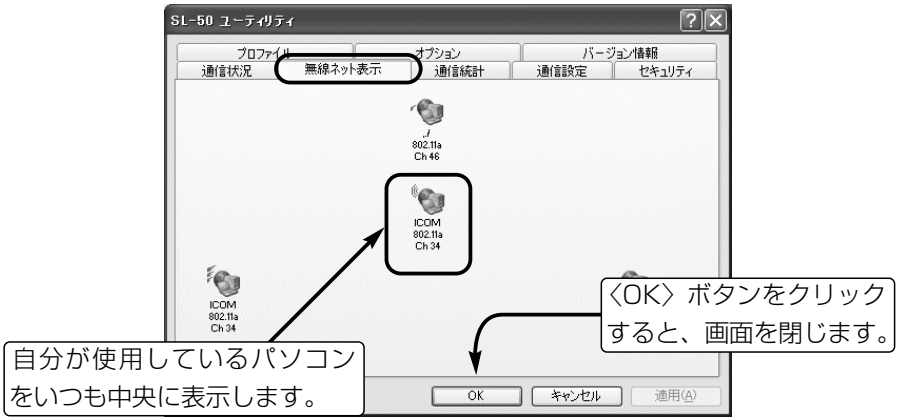
DHCPサーバからIPアドレスを再取得します。

ネットワークモードがインフラストラクチャに設定されていて、パソコンがIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得できる状態に設定されている場合だけ機能します。

1-2 [無線ネット表示]タブ

無線LAN機器の状態をモニターできます。

※説明のため、一部、実際とは表示が異なります。



■表示の見かた

◎自分のパソコンを中心として、無線伝送エリア内で通信するアクセスポイントや「アドホック」モードの無線ネットワークをアイコンで表示します。

◎各アイコンの下には、各無線LAN機器の設定情報や通信状況を表示します。
表示される項目は、上から[SSID]、[802.11 Modes]、[チャンネル]です。

◎無線ネットワークと通信するほかのパソコンは、表示されません。

◎自分の周りに表示されるアイコンをダブルクリックして、確認の画面で〈OK〉をクリックすると、その無線ネットワークに通信を切り替えます。
なお、次回起動時は、前回起動時の設定で通信します。
Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を本製品の設定に使用している場合、この画面から別の無線ネットワーク機器への切り替えはできません。

1-2 [無線ネット表示]タブ(つづき)

■ 中央に表示されるアイコンの意味

自分のパソコンに設定されている「無線通信モード」によって中央に表示されるアイコンの形が異なります。

[アドホック]モード	[インフラストラクチャ]モード
自分のパソコンが「アドホック」モードに設定されている場合、常に中央に表示されます。	自分のパソコンが「インフラストラクチャ」モードに設定されている場合、常に中央に表示されます。

■ 中央以外の場所に表示されるアイコンの意味

「アドホック」モードに設定された自分以外のパソコンが存在することを意味します。	無線伝送エリア内にアクセスポイントが存在することを意味します。

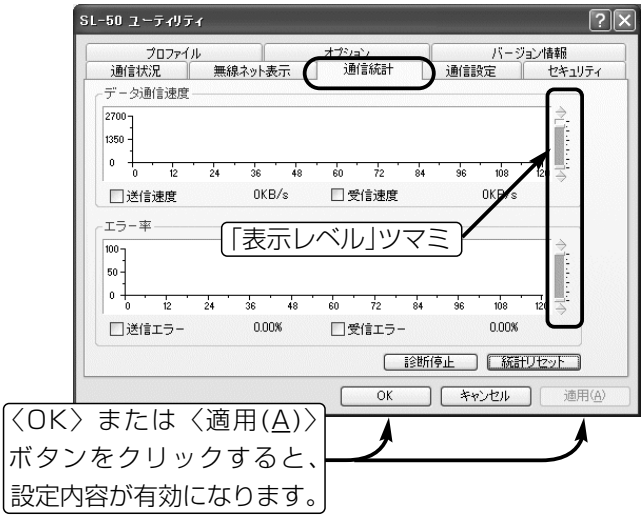
■ アイコンに表示される記号の意味

通信相手との電波強度やセキュリティーの設定の有無を記号で表示します。

電波の強さを3段階で表示します。	セキュリティーが設定されている状態です。

1-3 [通信統計]タブ

通信状況をグラフで監視するとき使用します。



■「送信速度」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、データ送信速度を１秒ごとに表示します。

■「受信速度」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、データ受信速度を１秒ごとに表示します。

■「送信エラー」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、１秒間に正しく送信されなかった割合をパーセンテージで表示します。

■「受信エラー」表示

チェックボックスにチェックマークが入っていると、１秒間に受信したパケットの中で誤りがある割合をパーセンテージで表示します。

■「表示レベル」ツマミ

マウスでツマミをドラッグすると、ツマミが上下にスライドして縦軸の表示レベルを変更できます。

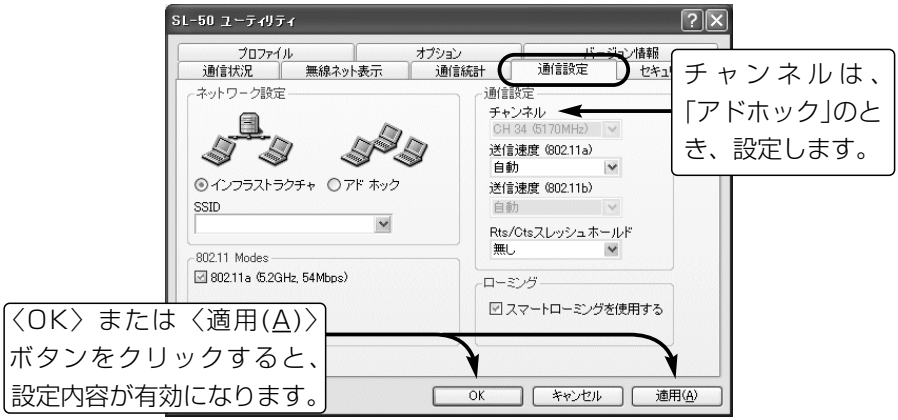
■〈診断停止〉ボタン
診断結果を表示するグラフ描画を停止するボタンです。

■〈診断再開〉ボタン
診断結果を表示するグラフ描画を再開するボタンです。(※診断を停止させると、表示します。)

■〈統計リセット〉ボタン
描画中のグラフを消去して、再度描画を開始するボタンです。

1-4 [通信設定]タブ

無線通信機能の設定をするとき使用します。



■ネットワーク設定

本製品の通信形態と無線ネットワーク名を設定します。

- **通信形態** (出荷時の設定：インフラストラクチャ)

  「インフラストラクチャ」：アクセスポイントと無線通信するとき

  「アドホック」　　：ほかのパソコンと無線で直接通信するとき

- **SSID** (出荷時の設定：空白)

  通信相手を同じグループとして識別するための無線ネットワーク名です。

  優先的に接続したい無線LAN機器の[SSID]を設定します。

  [SSID]を出荷時の設定(空白)で使用したときは、通信環境の良い方へ自動的に接続されます。

  本製品を起動時、この[SSID]の設定がほかの無線LAN機器と異なると通信できません。

  ※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

  ※[SSID]の設定が空白(出荷時の設定)のときは、従来の無線LANカードで「ANY」と設定したときと同じで、どんな[SSID]が無線ネットワーク機器に設定されていても、暗号化が設定されていないとアクセスできます。

  ※本製品の場合、「ANY」と設定したときは、「ANY」と設定された無線アクセスポイントと通信できます。

■802.11 Modes

本製品で使用する無線LAN規格(802.11a)の設定です。
[802.11a]は、5.2GHz帯の通信周波数を利用して、最高54Mbpsの送信速度で通信する規格で、この設定を変更することはできません。

■通信設定

●**チャンネル**

本機が「アドホック」モードの場合、相手からの接続要求に対して、本機で設定したチャンネルで通信します。
また、自分から接続要求をするときは、相手のチャンネルに自動設定されます。
「CH34/CH38/CH42/CH46」の中から選択します。
(出荷時の設定：CH34(5170MHz))

本機が「インフラストラクチャ」モードの場合、無線アクセスポイントに設定されたチャンネルで通信しますので、本機ではチャンネル設定できません。

●**送信速度** (出荷時の設定：自動)

環境の変化などで通信が不安定な場合は、「自動」を設定すると通信が続行可能な速度に自動で切り替わります。
[802.11a]で固定の場合は、「6/9/12/18/24/36/48/54」Mbpsの中から選択します。
[802.11b]は、本製品とは異なる無線LAN規格なので、設定できません。

●**Rts/Ctsスレッシュホールド** (出荷時の設定：無し)

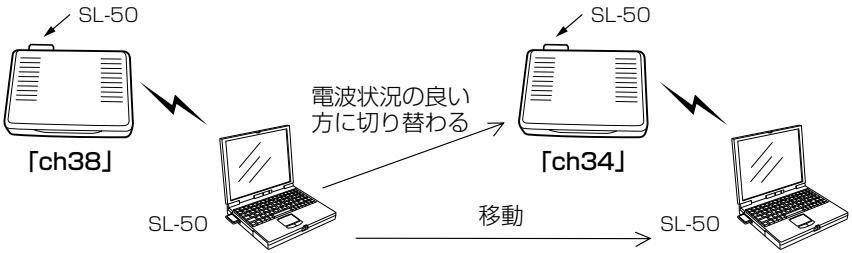
「500/1000」バイトを設定すると、**「隠れ端末」**(☞次ページ参照)の影響で起こる通信速度の低下を防止できます。

1-4 [通信設定]タブ(つづき)

■ローミング

「ローミング」とは、本製品を装着するパソコンを移動させても、自動的に電波状況のよい無線アクセスポイントに切り替えながら通信することです。

- **スマートローミング**　(出荷時の設定：☑/スマートローミングを使用する)
  スマートローミングを使用すると、チャンネルを定期的にスキャンさせることにより、電波状況のよい無線アクセスポイントへの切り替えが遅れることなく確実に行えます。(※「インフラストラクチャ」モード設定時、設定可能)

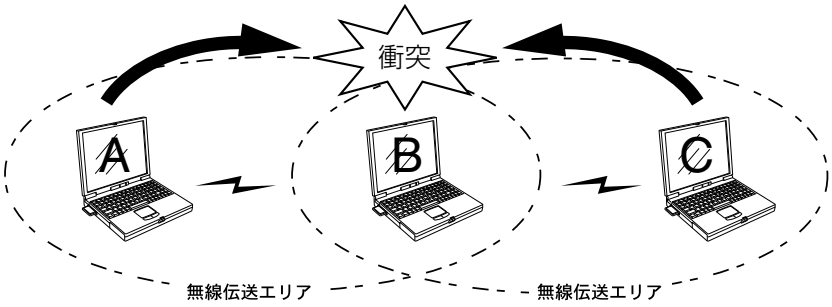


■隠れ端末とは

図のように、それぞれが無線端末[B]と通信できても、互いが直接通信できない無線端末[A]-[C]同士([A]に対して[C]、[C]に対して[A])のことを隠れ端末と呼びます。

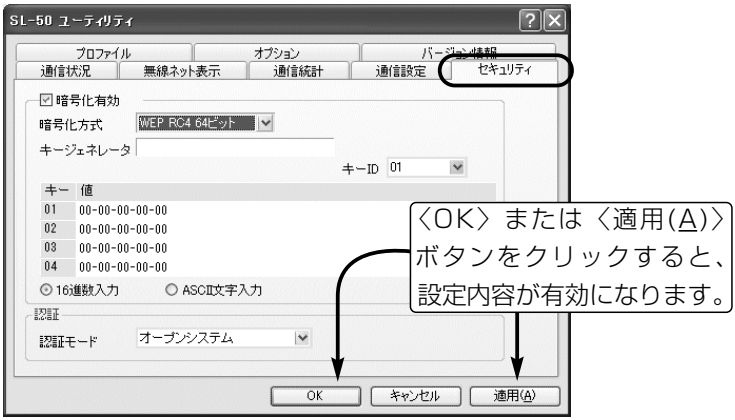
通信の衝突を防止するには、送信要求(Rts)信号を受信した無線端末[B]が、無線伝送エリア内にある無線端末[A]および[C]に送信可能(Cts)信号を送り返すことで、Rts信号を送信していない無線端末に無線端末[B]が隠れ端末と通信中であることを認識させます。

これにより、Rts信号を送信していない無線端末[A]または[C]は、無線端末[B]へのアクセスを自制して、通信の衝突を防止できます。



1-5 [セキュリティ]タブ

暗号化を設定するとき使用します。



■暗号化有効

[暗号化有効]のチェックボックスにチェックを入れると、送信データの暗号化が有効になります。 (出荷時の設定：□/暗号化無効)

■暗号化方式

[WEP RC4]と[OCB AES]の2通りあり、その方式と鍵(キー)のビット数を選択します。 (出荷時の設定：WEP RC4 128ビット)

暗号化方式とビット数が通信相手と同じでないと通信できません。

[WEP RC4]は、64/128/152ビットの中から選択でき、[OCB AES]は、128ビットを選択できます。

※暗号化認証(オープンシステム/シェアードキー)は、自動認識します。

- WEP RC4：一般に無線LANで使用されているWEPセキュリティーと呼ばれる暗号化方式で、RC4(Rivest Cipher 4)アルゴリズムをベースに構成されています。
  暗号化するデータのブロック長が8ビットで、暗号化鍵(キー)の長さ(64/128/152ビット)を選択できますが、上位24ビットは鍵をランダムに発生させていますので任意に設定できません。

1-5 [セキュリティ]タブ

■暗号化方式(つづき)

●OCB AES：[WEP RC4]より強力な次世代暗号化方式です。
暗号化するデータのブロック長が128ビットで、暗号化鍵(キー)の長も128ビットです。
すべてのビットに対して任意に鍵(キー)を設定できます。

■キージェネレータ

暗号化および復号に使う鍵(キー)を生成するための文字列を入力します。
入力は、大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号を半角32文字以内で入力します。
キージェネレータから生成されたキーは、[値]テキストボックスに表示されます。
※「ASCII文字入力」が設定されているときは、入力できません。
※通信の対象となる相手間で同じ文字列が設定されていると通信できます。

■キーID

暗号化に使用するキー番号(01～04)を選択します。　(出荷時の設定：01)
選択したキー番号のテキストボックスに入力された値が暗号化鍵として使用されます。

■値

キージェネレータから生成された鍵(キー)を表示します。
また、このテキストボックスに直接キーを入力できます。
※通信の対象となる相手間で同じキーが設定されていると通信できます。

■16進数入力/ASCII文字入力

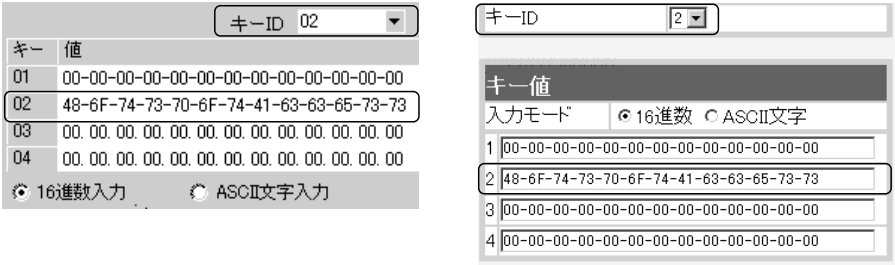
鍵(キー)の[値]をテキストボックスに直接入力するしかたを選択します。
(出荷時の設定：16進数入力)
入力内容を〈適用(A)〉ボタンで登録したあとは、「16進数入力」と「ASCII文字入力」を切り替えると両方の設定内容を確認できます。なお、[ASCII文字→16進数変換表](☞次ページ参照)に対応しない文字を含む場合は、表示されないことがあります。

■ キー値の設定例

「RC4 128(104)」ビットの暗号化方式で、「48-6f-74-73-70-6f-74-41-63-63-65-73-73」と「57-41-56-45-4d-41-53-54-45-52-4c-41-4e」をキーID「2」と「3」のテキストボックスに入力(16進数：26桁)したときの通信例です。

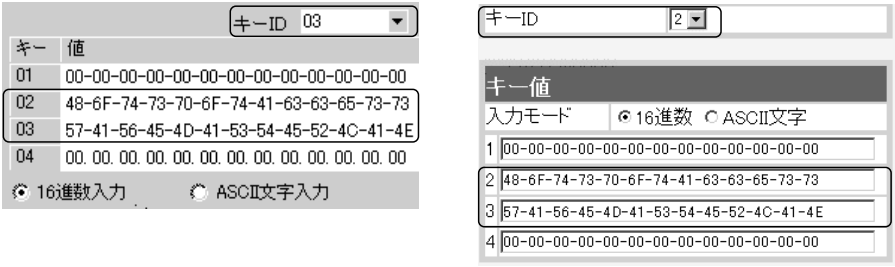
◎キーID「2」のキー値(鍵)が同じなので通信できます。

SL-50側 ⇄ 弊社製無線アクセスポイント



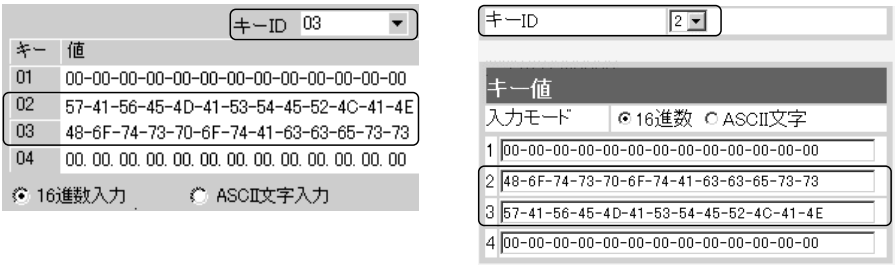
◎キーID「2」とキーID「3」のキー値(鍵)が同じなので通信できます。

SL-50側 ⇄ 弊社製無線アクセスポイント



◎キーID「2」とキーID「3」のキー値(鍵)が異なるので通信できません。

SL-50側 ⇄ 弊社製無線アクセスポイント



1-5 [セキュリティ]タブ

■ ASCII文字→16進数変換表

ご使用になる無線LANカードや無線LAN対応のパソコンが両方の入力モードに対応していない場合は、下記の変換表を参考にパソコンに設定するキーを指示してください。

[例]16進数入力で「4153434949」(10桁)を設定している場合、ASCII文字では、「ASCII」(5文字)になります。

ASCII文字		!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	-	.	/
16進数	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2a	2b	2c	2d	2e	2f
ASCII文字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
16進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3a	3b	3c	3d	3e	3f
ASCII文字	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	J	L	M	N	O
16進数	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4a	4b	4c	4d	4e	4f
ASCII文字	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
16進数	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5a	5b	5c	5d	5e	5f
ASCII文字	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
16進数	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6a	6b	6c	6d	6e	6f
ASCII文字	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	
16進数	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7a	7b	7c	7d	7e	

■ 暗号化方式対応表

対応：○　非対応：×

OCB AES	AES		WEP(RC4)		
128bit	128bit	256bit	64bit	128bit	152bit
○	×	×	○	○	○

■ 認証モード

暗号化を使用する無線LANからのアクセスに対する認証形式を設定します。

※通信相手と認証方式が異なると通信できません。

(出荷時の設定：オープンシステム)

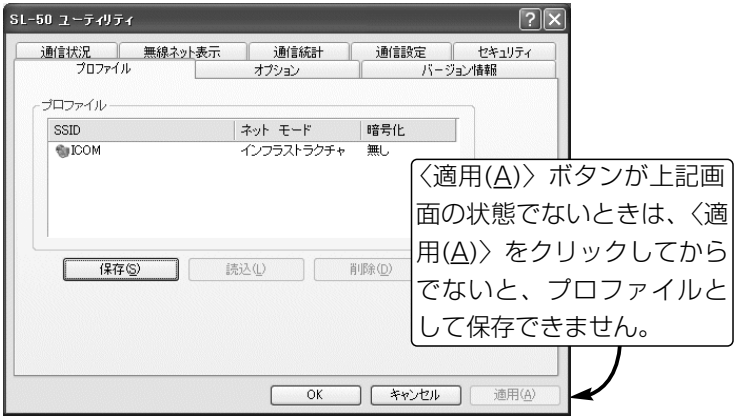
「オープンシステム」： 無線LANのアクセスに対して認証を行いません。

「シェアードキー」： 無線LANのアクセスに対して同じ暗号化鍵(キー)かどうかを認証します。

「オート」： 無線LANのアクセスに対して認証方式を自動で認識します。

1-6 [プロファイル]タブ

[通信設定]タブと[セキュリティ]タブの設定内容を、無線ネットワーク名ごとに保存でき、その一覧を表示します。



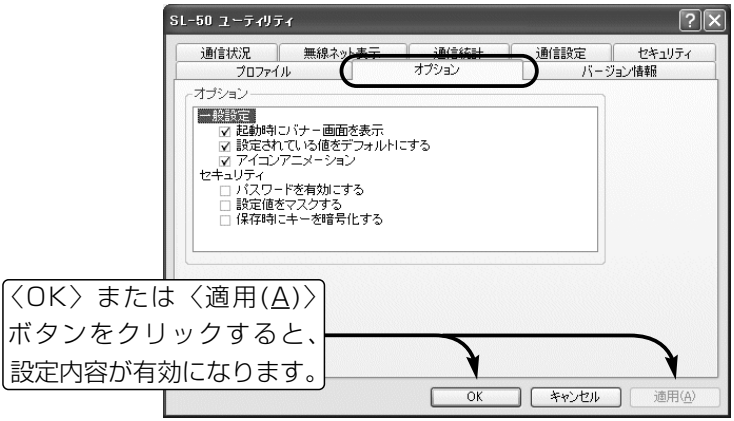
〈保存〉ボタン …… [通信設定]タブと[セキュリティ]タブに設定されている内容をプロファイルとして保存します。
※すでに保存されているプロファイルの無線ネットワーク名と同じ場合は、上書きされます。
※〈適用(A)〉ボタンは、[通信設定]タブで設定したとき操作が有効になります。

〈読込〉ボタン …… 一覧からクリックして選択された無線ネットワーク名のプロファイルを、[通信設定]タブと[セキュリティ]タブに読み込みます。
※読み込んだプロファイルは、〈適用(A)〉をクリックすることで、本製品の設定に反映されます。

〈削除〉ボタン …… 一覧からクリックして選択された無線ネットワーク名のプロファイルをパソコンから削除します。

1-7 [オプション]タブ

設定ユーティリティーについての設定です。



■オプション

チェックボックスにチェックマークを付けると、その項目が有効になります。

- **一般設定**

起動時にバナー画面を表示

バナー画面の表示/非表示の設定です。

バナー画面は、設定ユーティリティー起動時に表示します。

(出荷時の設定：☑/起動時にバナー画面を表示)

設定されている値をデフォルトにする

通常は出荷時の設定で使用しますが、設定を一時的に変更したいときになど、チェックボックスのチェックマークをはずして設定しておくと、パソコンを再起動することで設定ユーティリティーで変更する前の値に戻ります。

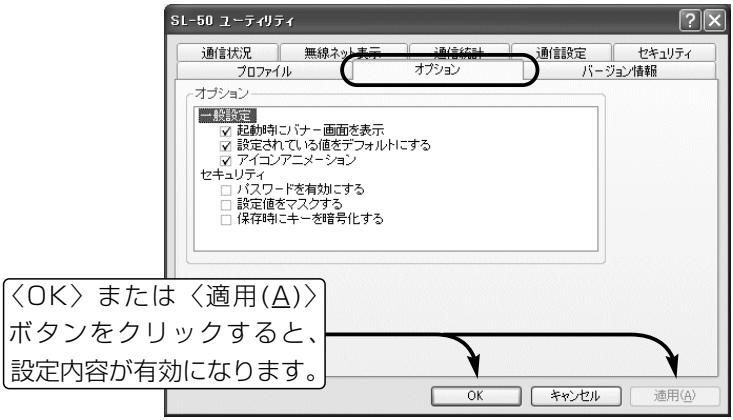
(出荷時の設定：☑/設定されている値をデフォルトにする)

アイコンアニメーション

ランプアニメーションやタスクバーのアイコンに**?✕**が表示されたとき、その部分を動画で表示します。

(出荷時の設定：☑/アイコンアニメーションで表示)

1-7 [オプション]タブ(つづき)



■オプション

チェックボックスにチェックマークを付けると、その項目が有効になります。

- **セキュリティ**

  パスワードを有効にする

  設定ユーティリティーの設定画面表示をパスワードで保護します。
  設定を有効にすると、設定画面を表示する直前にパスワードの入力を求める画面を表示します。
  パスワードは、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字28文字以内で入力します。　(出荷時の設定：□/パスワードを無効にする)

  設定値をマスクする

  [キージェネレータ]と[値]のテキストボックスに入力する内容をマスク(「＊(アスタリスク)」で表示)します。　(出荷時の設定：□/設定値を表示する)

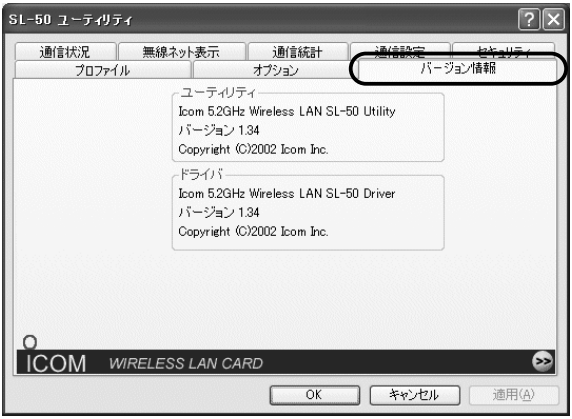
  保存時にキーを暗号化する

  設定ユーティリティーの設定情報がパソコンに保存されているため、設定ユーティリティーで設定した鍵(キー)の[値]が知られるのを防止するために、保存される[値]を暗号化します。(出荷時の設定：□/保存時にキーを暗号化しない)

  ※このオプションを有効にすると、無線LANカードを起動しなおしたときから鍵(キー)の[値]を「00-00-00-00-00」と表示しますが、設定されている値は有効です。

1-8 [バージョン情報]タブ

本製品の設定ユーティリティーやドライバーのバージョンを表示します。



■ユーティリティ

設定ユーティリティーのバージョン情報を表示します。

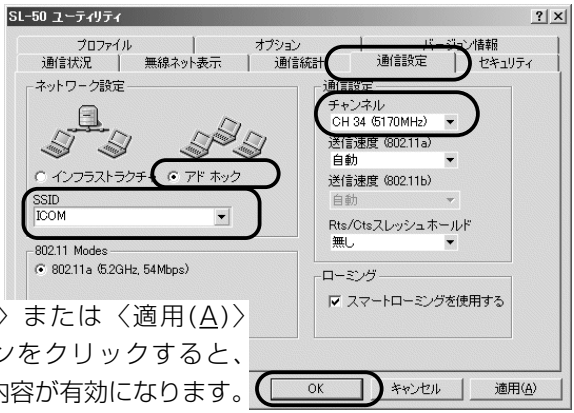
■ドライバ

本製品のドライバーのバージョン情報を表示します。

2-1 Windows 98SE/Meの場合

■ 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティーを使用して、下記の基本設定項目を設定します。
※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。
【基本設定項目】パソコン同士で無線通信を行うために必要な設定項目です。
※基本設定が完了したら、次の設定を行ってください。



〈OK〉または〈適用(A)〉ボタンをクリックすると、設定内容が有効になります。

無線通信モード

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。
パソコン同士での通信は、「アドホック」に設定します。 (出荷時の設定：インフラストラクチャ)

SS ID

通信する本製品同士をワークグループとして識別するための無線ネットワーク名として、SS IDを設定します。 (出荷時の設定：空白)
同じワークグループで通信する本製品同士で、この[SS ID]が異なると通信できません。
※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

チャンネル

「アドホック」モードで通信するとき使用するチャンネルです。 (出荷時の設定：チャンネル34)
無線伝送エリア内に複数のワークグループがある場合は、それぞれのワークグループで別々のチャンネルを設定してください。

2-1 Windows 98SE/Meの場合(つづき)

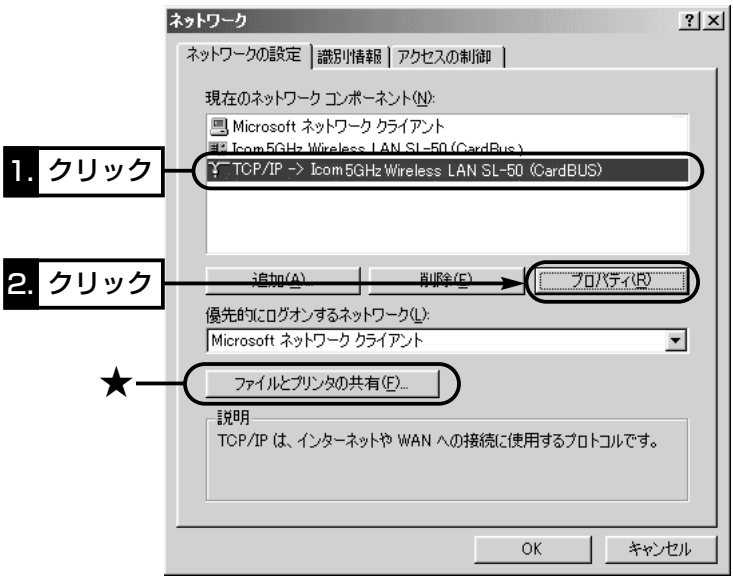
■ IPアドレスを設定する

前ページの設定が完了後、パソコン同士が無線通信を行うには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

【設定の手順】

1.マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[ネットワーク]アイコンの順に操作します。

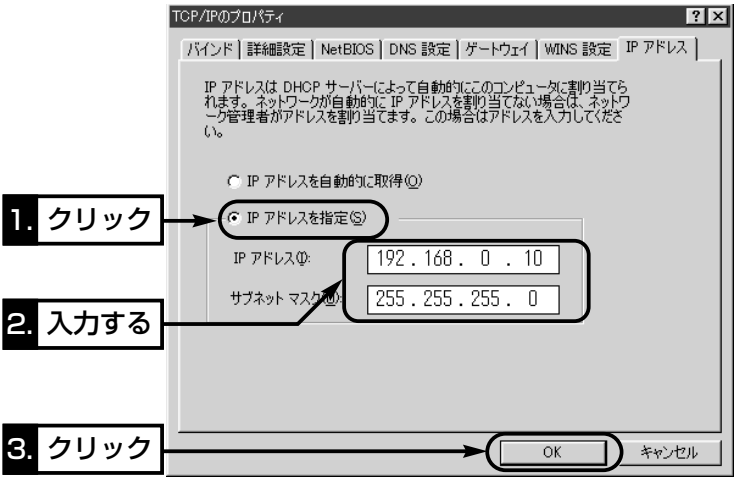
2.下記の画面で「TCP/IP->Icom 5.2GHz Wireless LAN SL-50(CardBus)」→〈プロパティ(R)〉の順にクリックします。



★ファイルとプリンターの共有設定について

ネットワーク上に存在するほかのパソコンとファイルやプリンターを共有する場合は、上記画面の〈ファイルとプリンタの共有(F)〉をクリックして、右の画面の項目にチェックマークを入れておいてください。

3.[IPアドレスを指定(S)]のラジオボタンをクリックして、チェックマークを入れます。[IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力して、〈OK〉をクリックします。



4.再起動をうながす画面が表示されたら、〈はい(Y)〉をクリックします。
再起動後、設定された内容が有効になります。

【IPアドレスの指定について】

- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのIPアドレスは、重複しないように設定してください。
- 同一ネットワークグループ内におけるすべてのパソコンのサブネットマスクは、同じ値を設定してください。
- 小規模なネットワーク(253台まで)でご使用になる場合は、プライベートアドレスとして192.168.0.0～192.168.255.255を使用します。なお、192.168.×××.0(ネットワークアドレス)と192.168.×××.255(ブロードキャストアドレス)は、特別なアドレスとして扱われますので、パソコンには、割り当てないでください。(×××：0～255)

3台のパソコンで無線LANを構成するときは、以下のようになります。

パソコンA：192.168.0.10(サブネットマスク：255.255.255.0)
パソコンB：192.168.0.11(サブネットマスク：255.255.255.0)
パソコンC：192.168.0.12(サブネットマスク：255.255.255.0)

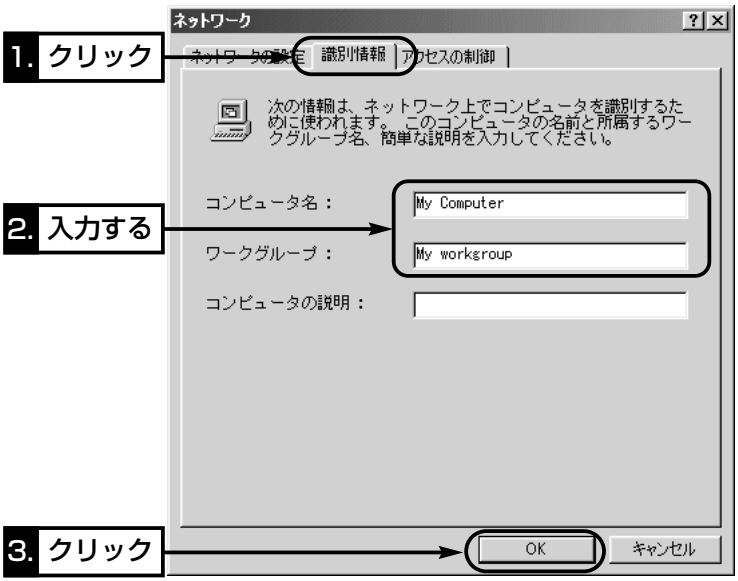
2-1 Windows 98SE/Meの場合(つづき)

■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定

【設定の手順】

1.マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]→[ネットワーク]アイコンの順に操作します。

2.[識別情報]タブをクリックして、[コンピュータ名:]、[ワークグループ:]のテキストボックスに情報を入力してから、〈OK〉をクリックします。
入力は、半角15文字以内(任意の英数字)になるようにします。



3.再起動をうながす画面が表示されたら、〈はい(Y)〉をクリックします。
再起動をうながすメッセージにしたがって、パソコンを再起動します。

【コンピュータ名：】ネットワーク上で、パソコンごとに識別用の名前を入力します。なお、同じネットワークグループのパソコンと重複しないように設定してください。
【ワークグループ：】同じ名前を設定したパソコンが、ネットワーク上で同じネットワークグループとして認識されます。
同じグループ名を通信の対象となるすべてのパソコンに設定してください。
異なる名前を設定すると通信できません。
【コンピュータの説明(D)：】必要があれば、任意に入力します。

■「共有フォルダー」の設定

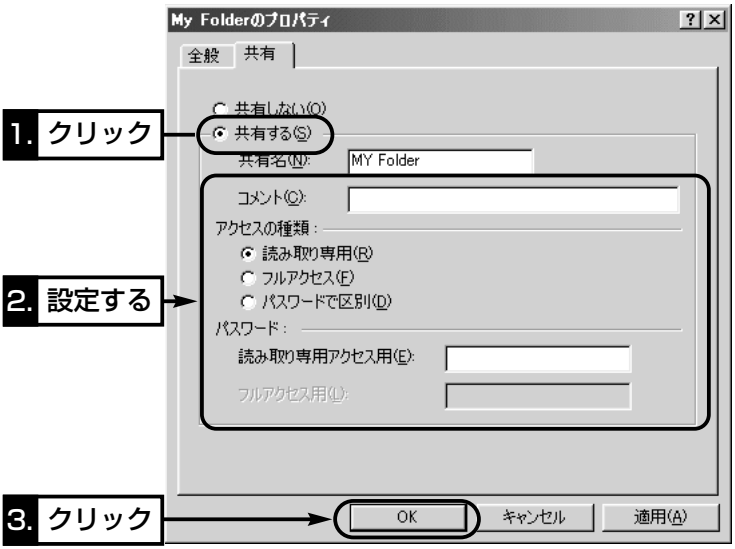
パソコンのドライブまたはフォルダーを相手先に公開するには共有フォルダーの設定が必要です。

【設定の手順】

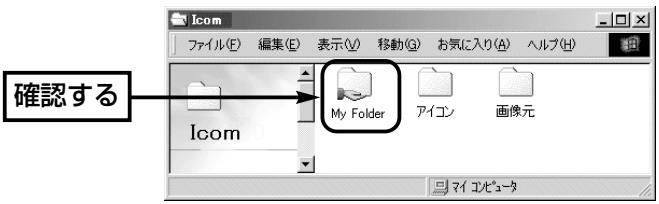
1.デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンなどから、共有したいフォルダーのあるウィンドウを開きます。

2.共有したいフォルダー上にカーソルを移動して右クリックします。
表示されたショートカットメニューから[共有(H)]をクリックします。

3.[共有する(S)]のラジオボタンをクリックして、[共有名(N):]、[コメント(C):]、[アクセスの種類:]、[パスワード:]などを確認または変更して、〈OK〉をクリックします。



4.設定したフォルダーのアイコンが、画面のように変化したことを確認します。

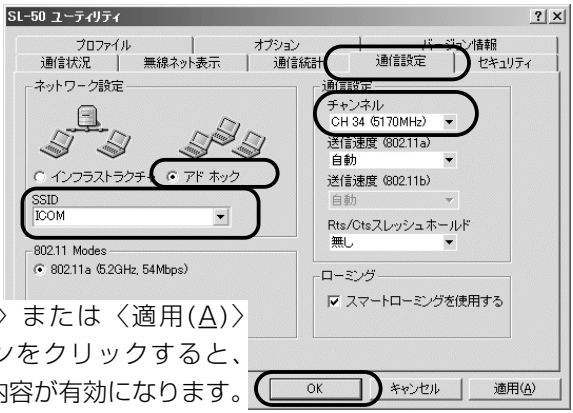


2-2 Windows 2000の場合

■ 本製品の基本設定をする

設定ユーティリティーを使用して、下記の基本設定項目を設定します。
※本製品を使って通信するすべてのパソコンに設定が必要です。

【基本設定項目】パソコン同士で無線通信を行うために必要な設定項目です。
※基本設定が完了したら、次の設定を行ってください。



〈OK〉または〈適用(A)〉ボタンをクリックすると、設定内容が有効になります。

無線通信モード

ほかの無線LAN機器との通信形態を設定します。
パソコン同士での通信は、「アドホック」に設定します。 (出荷時の設定：インフラストラクチャ)

SS ID

通信する本製品同士をワークグループとして識別するための無線ネットワーク名として、SS IDを設定します。 (出荷時の設定：空白)
同じワークグループで通信する本製品同士で、この[SS ID]が異なると通信できません。
※大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力してください。

チャンネル

「アドホック」モードで通信するとき使用するチャンネルです。 (出荷時の設定：チャンネル34)
無線伝送エリア内に複数のワークグループがある場合は、それぞれのワークグループで別々のチャンネルを設定してください。

■ IPアドレスを設定する

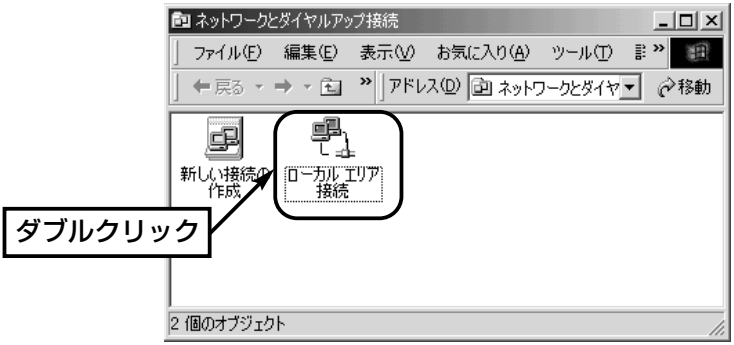
前ページの設定が完了後、パソコン同士が無線通信を行うには、固定IPアドレスを割り当てる必要があります。

【設定の手順】

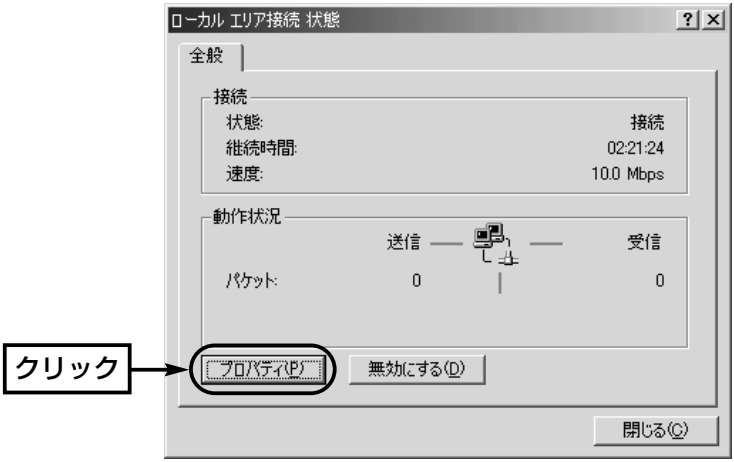
1.設定に使用するパソコンを起動します。
- 「ログオン」画面を表示します。

2.管理者権限でログオンします。

3.パソコンが起動したら、マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[ネットワークとダイヤルアップ接続(N)]→本製品の[ローカルエリア接続]アイコンを順に操作します。

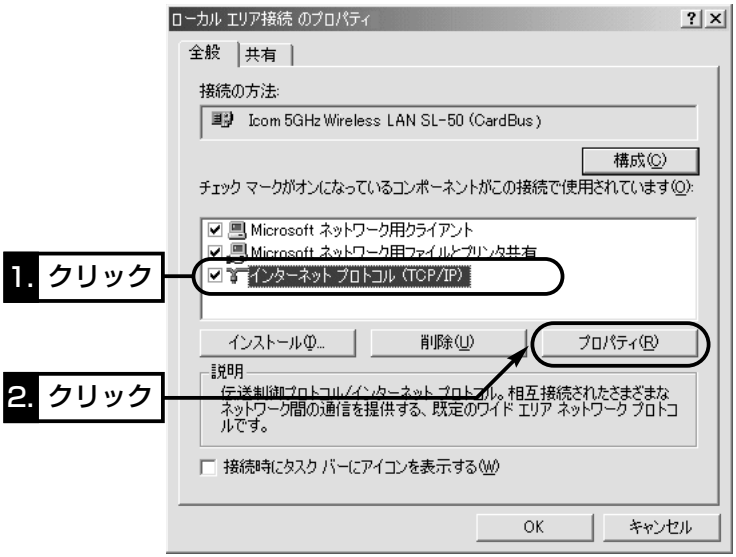


4.〈プロパティ(P)〉をクリックします。

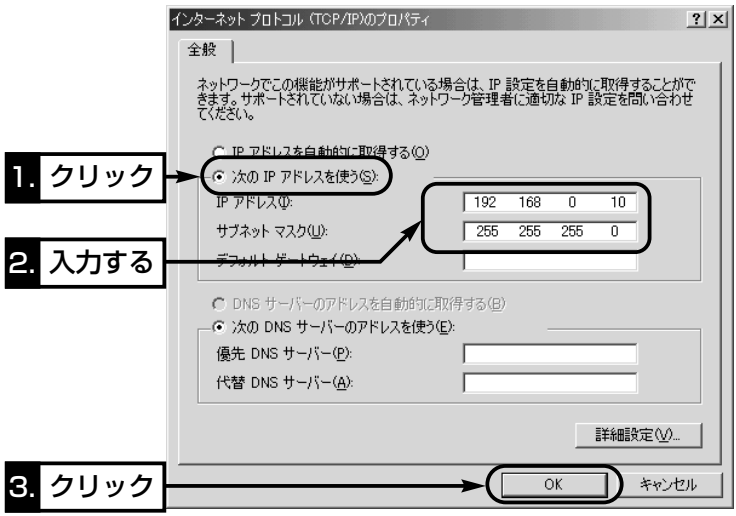


2-2 Windows2000の場合(■ IPアドレスを設定する)つづき

5.「インターネットプロトコル (TCP/IP)」→〈プロパティ(R)〉の順にクリックします。



6.[次のIPアドレスを使う(S)]のラジオボタンをクリックするとチェックマークが入りますので、[IPアドレス(I)]と[サブネットマスク(U)]を入力してから、〈OK〉をクリックします。

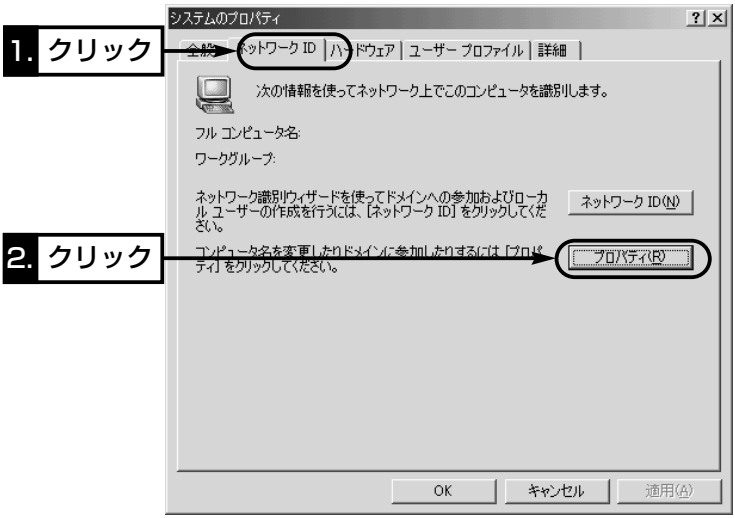


■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定

【設定の手順】

1.デスクトップ上の[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。

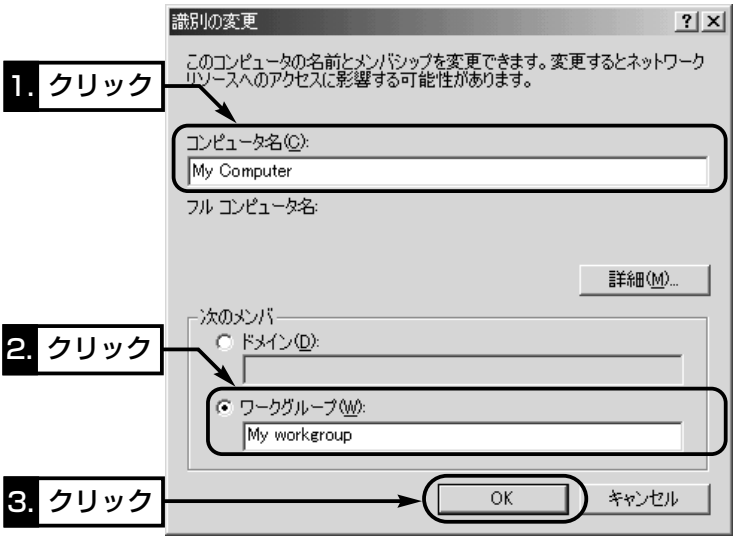
2.[ネットワークID]タブ→〈プロパティ(R)〉の順番にクリックします。



2-2 Windows2000の場合

■「コンピュータ名」と「ワークグループ名」の設定(つづき)

3.[コンピュータ名(C):]、[ワークグループ(W):]のテキストボックスに情報を入力してから、〈OK〉をクリックします。



4.再起動をうながす画面が表示されたら、〈はい(Y)〉をクリックします。

■「共有フォルダー」の設定

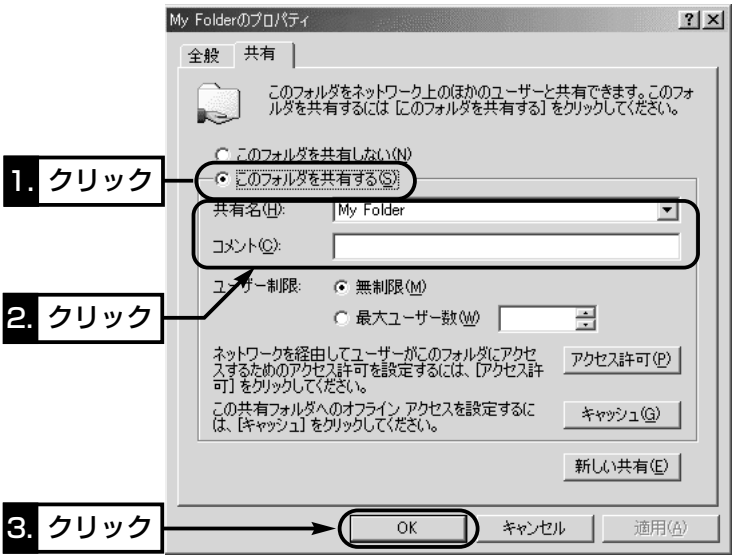
パソコンのドライブまたはフォルダーを相手先に公開するには共有フォルダーの設定が必要です。

【設定の手順】

1.デスクトップにある[マイコンピュータ]アイコンなどから、共有したいフォルダーのあるウィンドウを開きます。

2.共有したいフォルダー上にカーソルを移動して右クリックします。
表示されたメニューから[共有(H)]をクリックします。

3.[このフォルダを共有する(S)]のラジオボタンをクリックして、[共有名(H):]、[コメント(C):]などを確認または変更して、〈OK〉をクリックします。



2-2 Windows2000の場合(■「共有フォルダー」の設定)つづき

4.設定したフォルダーのアイコンが、画面のように変化したことを確認します。

■「ユーザー登録」の設定

共有ファイルへのアクセスを許可するためには、ログオンするための「ユーザー名」と「パスワード」を設定しておく必要がありますので、その手順について説明します。

【設定の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[設定(S)]→[コントロールパネル(C)]の順番に操作します。
2. 「コントロールパネル」画面の[ユーザーとパスワード]アイコンをダブルクリックします。
3. 〈追加(D)〉をクリックします。

4. 「新しいユーザーの追加」画面で[ユーザー名(U)]を設定して、〈次へ(N)〉をクリックします。
5. [パスワード(P)]と[パスワードの確認入力(C)]を設定して、〈次へ(N)〉をクリックします。
6. ユーザーに許可するアクセス権を指定して、〈完了〉をクリックすると、登録が完了です。

3 ご参考に

3-1 無線ネットワークへの接続を確認する

同じ無線ワークグループに所属するほかのパソコンのアイコンが表示されることを確認する手順を説明します。

■ Windows XPの場合

【確認の手順】

1.パソコンを起動します。
- 「ログオン」画面を表示します。

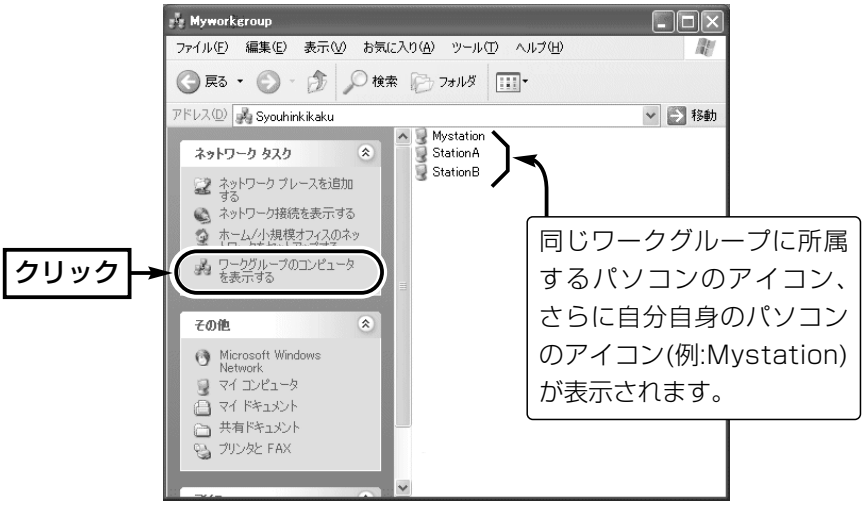
2.マウスを〈スタート〉→[コントロールパネル(C)]の順に操作します。

3.コントロールパネルから、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

4.[ネットワーク接続]アイコンをクリックします。

5.[その他]の項目から、[マイネットワーク]をクリックします。

6.[ネットワーク タスク]の項目から、[ワークグループのコンピュータを表示する]をクリックします。



7.上記画面で表示されているパソコンのアイコンをダブルクリックすると、そのパソコンに共有設定されたフォルダーが表示されます。

【ほかの無線ワークグループを表示させたくないときは？】
無線ワークグループが複数存在する場合で、ほかの無線ワークグループにネットワーク情報を知られたくない(上記画面にほかの無線ワークグループのパソコンを表示させたくない)ときなどは、無線ワークグループごとに異なる[SS ID]を設定してください。
この場合、同じワークグループに所属するパソコン同士でだけ通信が可能です。

3-1 無線ネットワークへの接続を確認する(つづき)

■ Windows 98SE/Meの場合

【確認の手順】

1.デスクトップ上の[ネットワークコンピュータ](Windows Meの場合：マイネットワーク)アイコンをダブルクリックします。

2.同じワークグループに所属するパソコンのアイコン、さらに自分自身のパソコンのアイコン(例:My station)が「ネットワークコンピュータ」画面に表示されていることを確認します。

表示されていれば、ネットワークへの接続は正常です。

3.表示されている[コンピュータ]アイコンをダブルクリックすると、そのパソコンに共有設定されたフォルダーが表示されます。

【ほかの無線ワークグループを表示させたくないときは？】
無線ワークグループが複数存在する場合で、ほかの無線ワークグループにネットワーク情報を知られたくない(上記画面にほかの無線ワークグループのパソコンを表示させたくない)ときなどは、無線ワークグループごとに異なる[SS ID]を設定してください。
この場合、同じワークグループに所属するパソコン同士でだけ通信が可能です。

■ Windows2000の場合

【確認の手順】

1.デスクトップ上の[マイネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

2.同じワークグループに所属するパソコンのアイコン、さらに自分自身のパソコンのアイコン(例:My station)が「ネットワークコンピュータ」画面に表示されていることを確認します。

表示されていれば、ネットワークへの接続は正常です。

3.表示されている[コンピュータ]アイコンをダブルクリックすると、そのパソコンに共有設定されたフォルダーが表示されます。

【ほかの無線ワークグループを表示させたくないときは？】

無線ワークグループが複数存在する場合で、ほかの無線ワークグループにネットワーク情報を知られたくない(上記画面にほかの無線ワークグループのパソコンを表示させたくない)ときなどは、無線ワークグループごとに異なる[SS ID]を設定してください。

この場合、同じワークグループに所属するパソコン同士でだけ通信が可能です。

3-2 トラブルシューティング

本製品について、おもなトラブルの対処方法を説明しています。

■ ドライバー/設定ユーティリティーをWindows XP/Windows2000にインストールできない

〈原因〉 OSを管理者(administrator)権限でログオンしていない

〈対策〉 OSを管理者のユーザー名でログオンしなおす

■ 本製品をPCカードスロットに装着してもランプが点灯しない

〈原因〉 PCカードアダプターが機能していない

〈対策〉 取扱説明書の2-3章を参考にPCカードアダプターが正常に動作していることを確認する

〈原因〉 本製品のドライバーが正しくインストールされていない

〈対策〉 取扱説明書の7-4章を参考に「ドライバーのインストール状態」を確認する

■ ドライバーが正しくインストールできない

〈原因〉 デバイスマネージャの画面で「Icom 5.2GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」のアイコンに「!」や「×」マークがついていたり、「?その他のデバイス」という項目に「Icom 5.2GHz Wireless LAN SL-50 (CardBus)」が表示されている

〈対策〉 「■ ドライバーの再インストールについて」(取扱説明書☞7-4章)の説明を参考に、ドライバーを再インストールする

■ 無線アクセスポイントと通信できない

〈原因〉 無線アクセスポイントからパソコンのIPアドレスを取得できていない

〈対策〉 無線アクセスポイントの電源が入った状態で、本製品が装着されたパソコンを起動する

〈原因〉 無線アクセスポイントのDHCPサーバ機能が無効に設定されている

〈対策〉 無線アクセスポイントのDHCPサーバ機能を有効に設定する

〈原因〉 無線LANカードのIPアドレスを固定に変更している

〈対策〉 無線LANカードのIPアドレスを「自動的に取得」に設定する

〈原因〉 本製品の無線通信モードを間違えて設定している

〈対策〉 無線通信モードを「インフラストラクチャ」に設定する

〈原因〉 SS IDの設定が無線アクセスポイント側と異なる

〈対策〉 無線アクセスポイント側と同じSS IDを設定する

■ 無線アクセスポイントと通信できない(つづき)

〈原因〉 無線アクセスポイント側でMACアドレスセキュリティーが設定されている

〈対策〉 無線アクセスポイント側に本製品のMACアドレスを登録する

※本製品のMACアドレスは、設定ユーティリティーの[通信状況]タブに表示されます。

〈原因〉 無線アクセスポイント側で、WEPセキュリティーまたはAESセキュリティーが設定されている

〈対策〉 無線アクセスポイント側のセキュリティーを一時的に無効にして通信を確認する

■ パソコン同士で無線通信できない

〈原因〉 無線LANカードのIPアドレスを「自動的に取得」に設定している

〈対策〉 取扱説明書の6-2章「【IPアドレスの指定について】」を参考に無線LANカードのIPアドレスを固定で割り当てる

〈原因〉 本製品の無線通信モードを間違えて設定している

〈対策〉 無線通信モードを「アドホック」に設定する

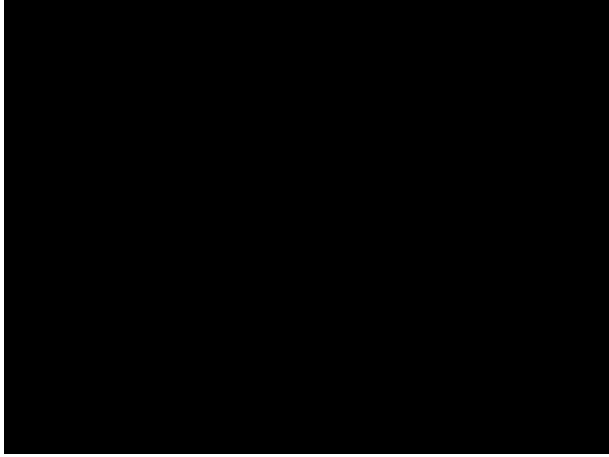
〈原因〉 チャンネルの設定が通信するほかのパソコンと異なる

〈対策〉 通信するほかのパソコンとチャンネルの設定を同じにする

〈原因〉 SS IDの設定が通信するほかのパソコンと異なる

〈対策〉 通信するほかのパソコンとSS IDの設定を同じにする

高品質がテーマです。



アイコム株式会社

本　　社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

●サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

A-6191I-2J-③

© 2002 Icom Inc.

ICOM®

ワイヤレス接続説明書

54Mbps
WAVEMASTER®

5GHz 無線LANカード
SL−50

この説明書は、本製品のワイヤレスネットワーク接続機能について説明しています。
取扱説明書と併せてご覧ください。

Icom Inc.

本書の構成について
1章：Windows XPの
Service Pack1用

もくじ

第1章 ワイヤレスネットワーク接続を使う ――――――1

1-1. Windows XP標準の
ワイヤレスネットワーク接続を使う ……1
■検索された無線ネットワーク名を
手動で追加して接続するには ……4
■検索されない無線ネットワーク名を
新規で追加するには ……7
■認証モードについて ……11
1-2. 本製品の設定ユーティリティーで
ワイヤレスネットワーク接続する ……12
■Windows XPで、本製品の
設定ユーティリティーを使用するには ……12
■設定ユーティリティーでワイヤレス接続する ……15
■認証モードについて ……16

ワイヤレスネットワーク接続を使う

本製品が接続されたパソコンの無線伝送エリア内で、本製品と通信可能な無線アクセスポイントやアドホックモードで通信する無線端末を検索して表示します。表示された無線アクセスポイントや無線端末に本製品をワイヤレス接続するには、次の2通りの方法があります。

■ Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(☞1-1章)

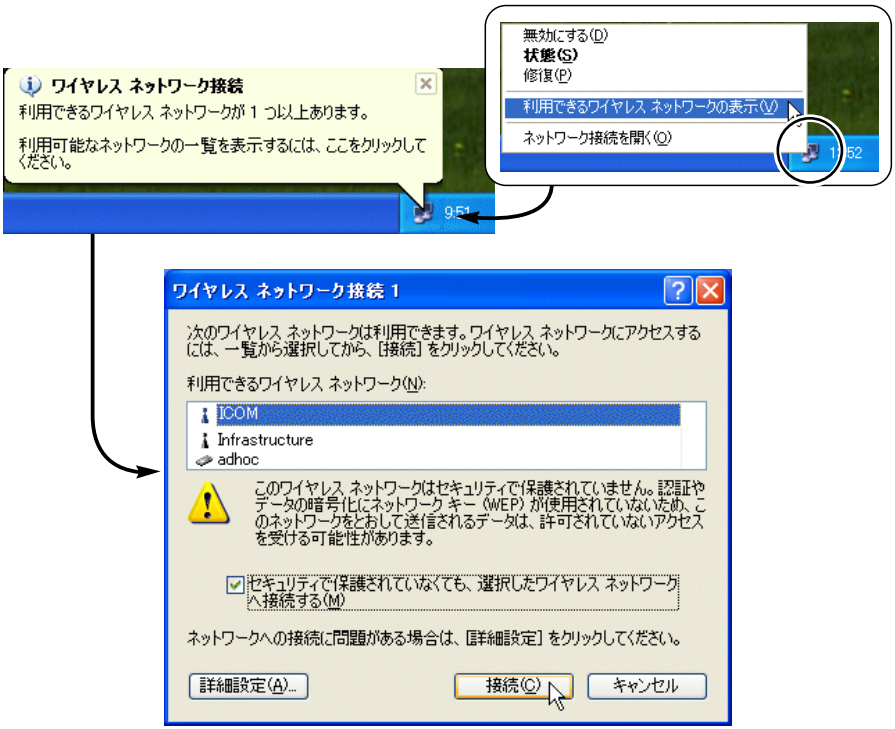
■ 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する(☞1-2章)

※本書で説明する機能を利用するには、本製品のドライバーとユーティリティーがVer.1.34以上であることをお確かめください。

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】

1. 本製品のドライバーをインストール後、Windows XPのタスクバーに[ネットワーク]アイコンが表示されます。
2. 画面の指示にしたがって操作するか、マウスカーソルを[ネットワーク]アイコン上で右クリックして表示されるメニューから「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」をクリックします。
   - 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面を表示します。



1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】(つづき)

3.本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、[利用できるネットワーク(N)]にその機器の無線ネットワーク名(SS ID)が表示されます。

※表示された無線ネットワーク名の左には、通信相手の[無線ネットワークモード]をアイコンで表示します。

※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。

4.本製品とワイヤレス接続したい無線ネットワーク名をクリックします。

※選んだ無線ネットワーク名の機器に暗号化が設定されている場合は、その機器の暗号化鍵(キー)を16進数(10桁または26桁)かASCII文字(5文字または13文字)で[ネットワークキー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(O)]に入力します。

5. 〈接続(C)〉をクリックすると、その機器に接続して自動的に画面を閉じます。

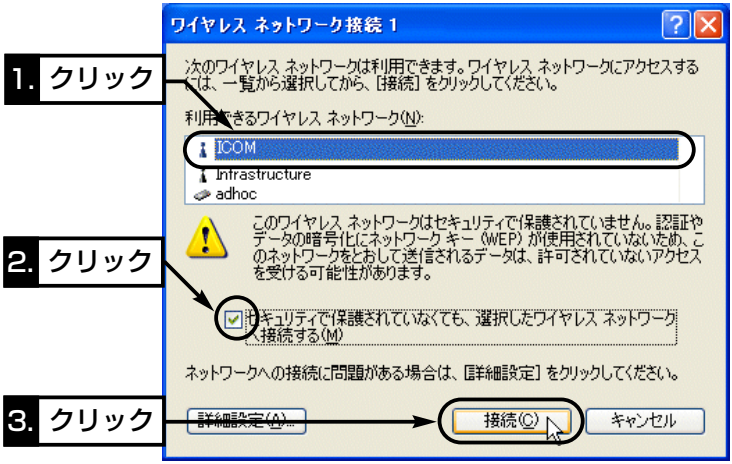
● 選択した機器の[SS ID]や[WEP(キー)]の設定を本製品に自動設定します。

※ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順2.で[利用できるネットワーク(N)]から別の機器を選べます。

※選んだ機器と接続できないときは、タスクバーに手順2.の画面が再度表示されます。

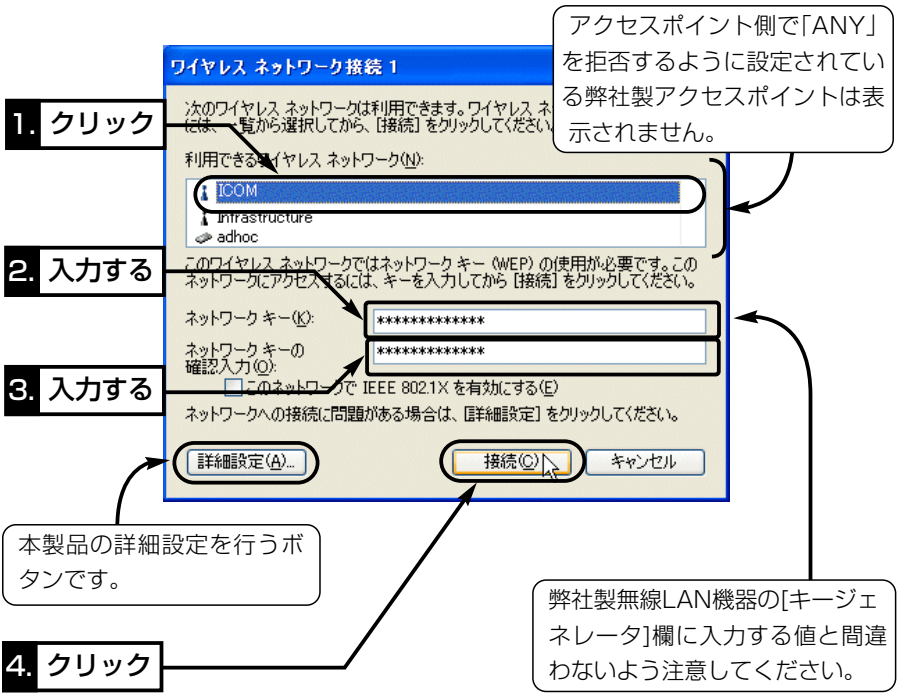
※通信できないときは、暗号化鍵(キー)の入力に間違いがないことを確認してください。また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

〈暗号化されていないネットワークを選んだとき〉

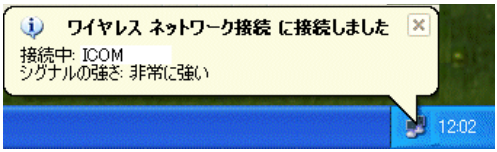


【接続の手順】(つづき)

〈暗号化されたネットワークを選んだとき〉



6.接続されると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。



本製品の設定は、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[優先するネットワーク(P)]に自動的に追加されます。

追加されると、次回起動時は、[優先するネットワーク(P)]中に表示される機器を上から順番に検索して、接続可能な機器に自動で接続します。

※「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の表示は、〈詳細設定(A)〉ボタンで表示できます。

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(つづき)

【詳細設定について】

詳細設定(ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ)画面は、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面の〈詳細設定(A)〉をクリックすると表示します。

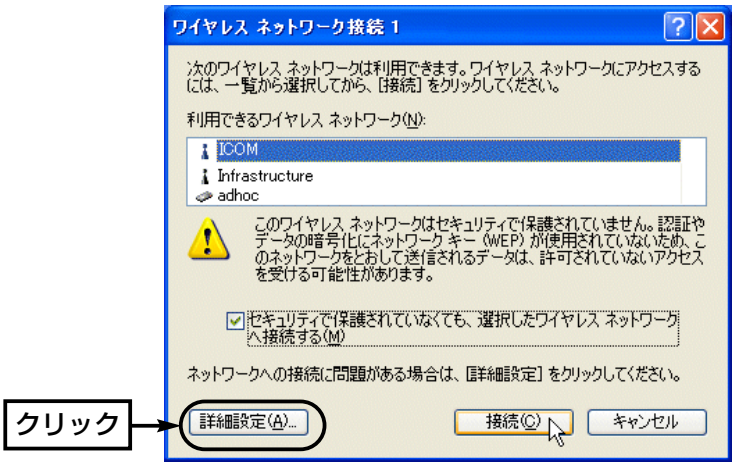
本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して接続したり、検索されない無線ネットワーク名を新規で追加できます。

■検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して本製品に接続する手順です。

【追加と接続の手順】

1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→〈詳細設定(A)〉の順番に操作します。

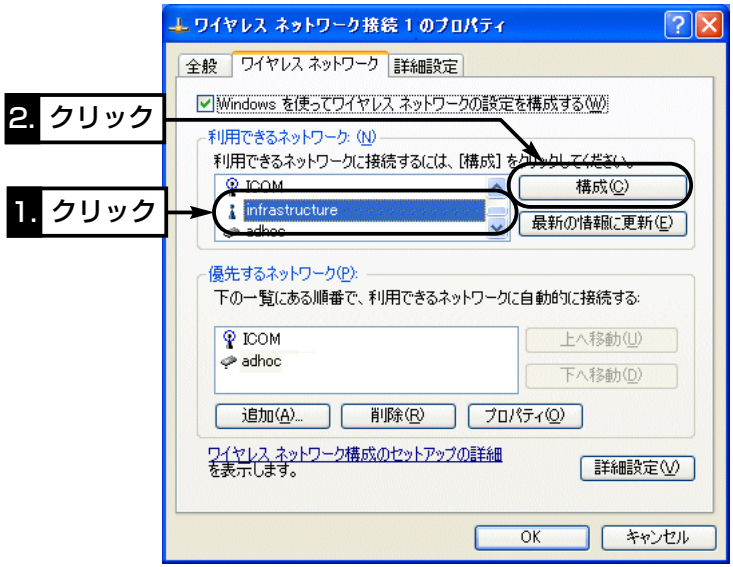


2.本製品と通信している無線ネットワーク名のアイコンには、「○」印が表示されますので、それ以外の無線ネットワーク名をクリックします。

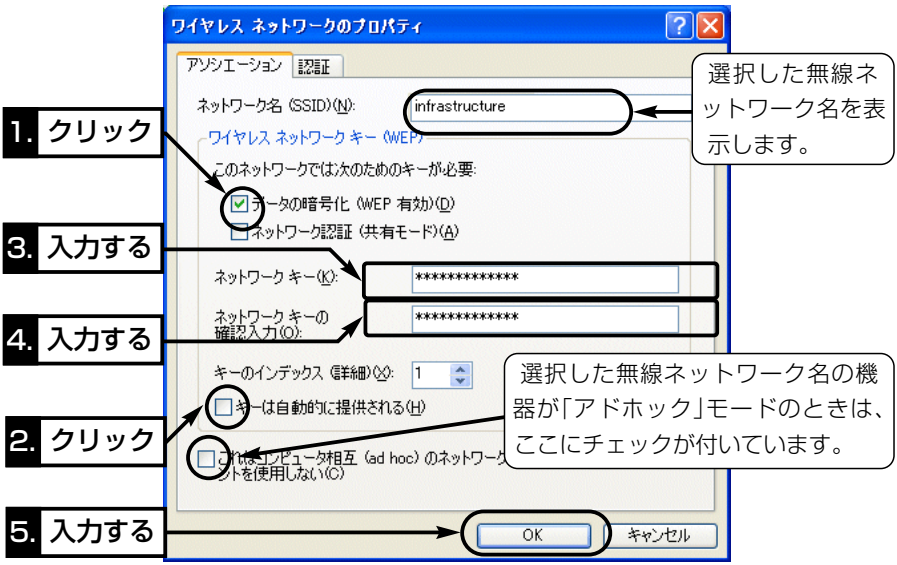
※選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に表示されている場合は、削除しないと追加できません。

【追加と接続の手順】(つづき)

3. 〈構成(C)〉をクリックします。



4. ネットワークキー(WEP)の設定が必要なときは、選択した無線ネットワーク名の機器に設定されたキーと同じものを[ネットワーク キー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(O)]に入力してから、〈OK〉をクリックします。



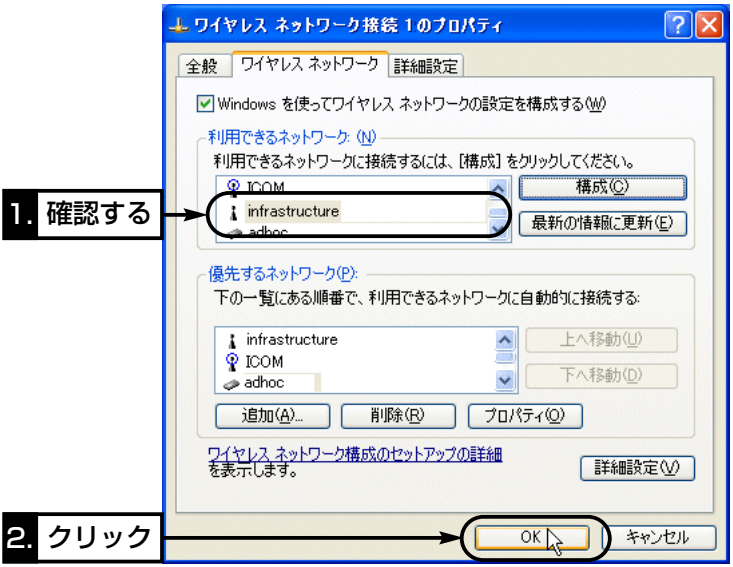
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

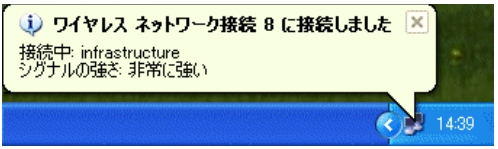
■検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

【追加と接続の手順】(つづき)

5.選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックします。



6.接続が切り替わると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。

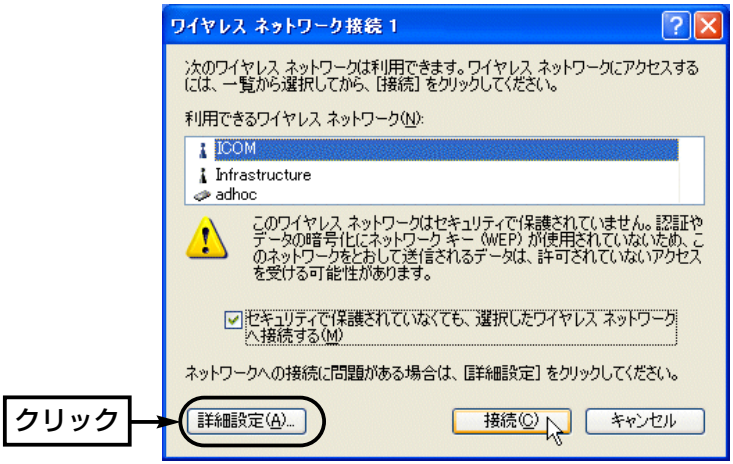


■検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

[利用できるネットワーク(N)]の中には表示されていない無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に新規で追加するときの手順です。
次回起動時は、追加した機器を優先的に検索して接続されます。
追加した機器に接続できないときは、[優先するネットワーク(P)]に登録されているほかの機器を検索して接続します。

【追加の手順】

1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→〈詳細設定(A)〉の順番に操作します。



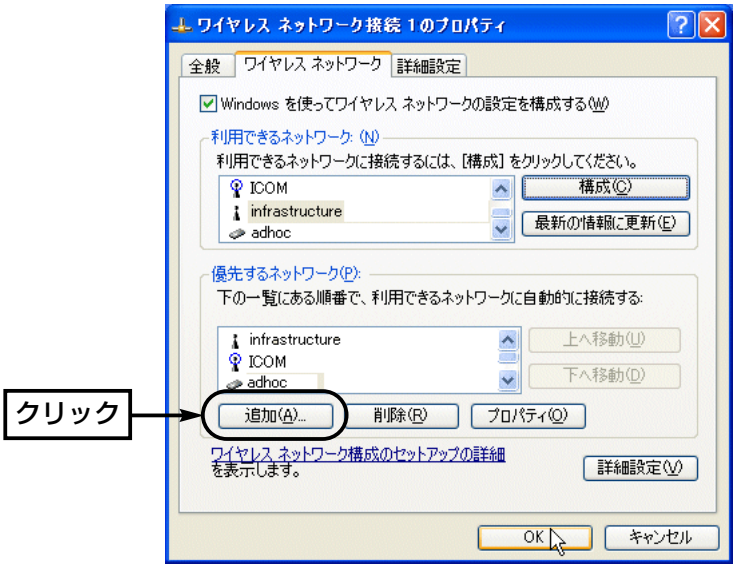
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

2. 〈追加(C)〉をクリックします。

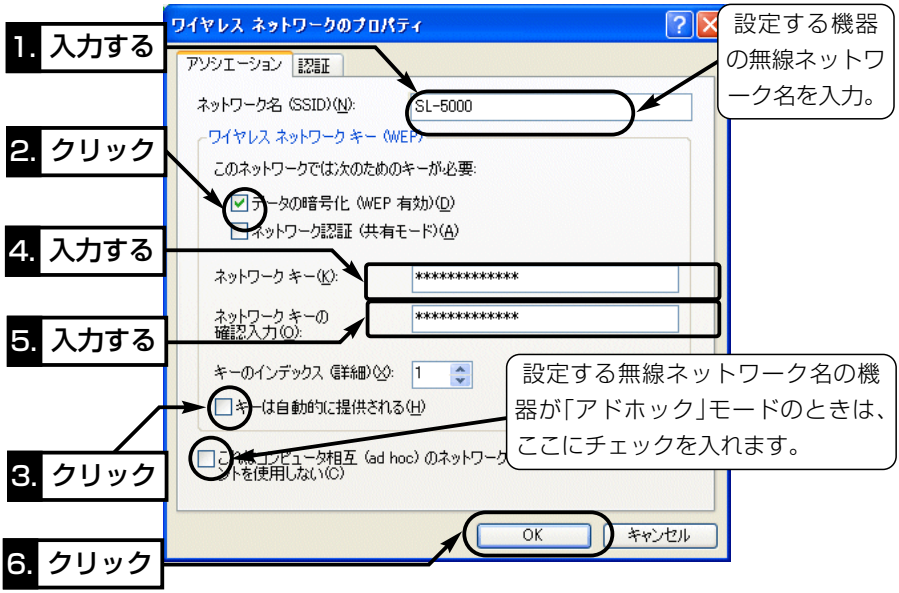


【追加の手順】(つづき)

3.[SS ID]や[WEP(キー)]を接続を予定する機器の設定条件にしたがって、設定します。

※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。

※Windows XPの[キーの長さ(L)]の設定は、[ネットワークキー(K)]の入力に応じて自動選択されます。
[キーの長さ(L)]の設定が「40ビット(10桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:64ビット」に相当、[キーの長さ(L)]の設定が「104ビット(26桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:128ビット」に相当します。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

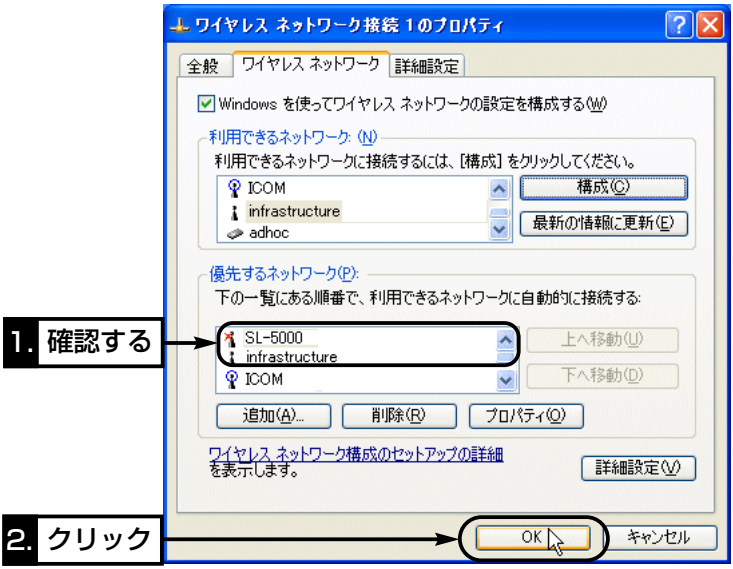
1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

4.[優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックすると完了です。

※追加された無線ネットワーク名のアイコンに表示される「×」印は、検索できないとき表示され、次回起動時に検出されると「×」印は消えます。

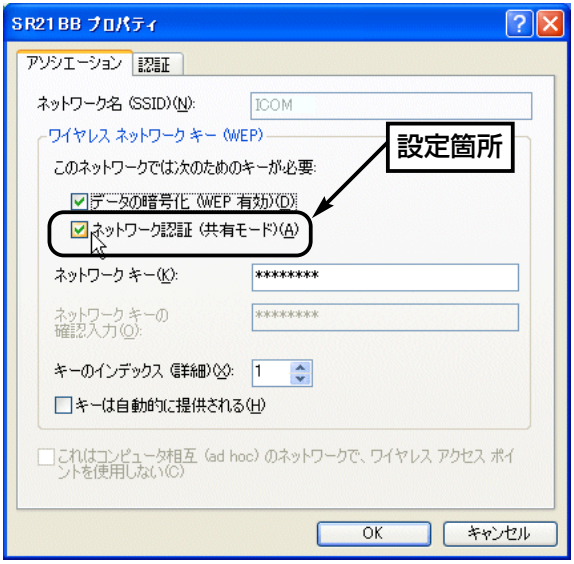


■認証モードについて

WEPセキュリティーを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[ネットワーク認証(共有モード)(A)]にチェックマークを入れてください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続(☞1-1章)を使用しない場合や、ご使用になるOSがWindows XP以外の場合は、本製品の設定ユーティリティーを使用してワイヤレスネットワーク接続できます。

■Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには

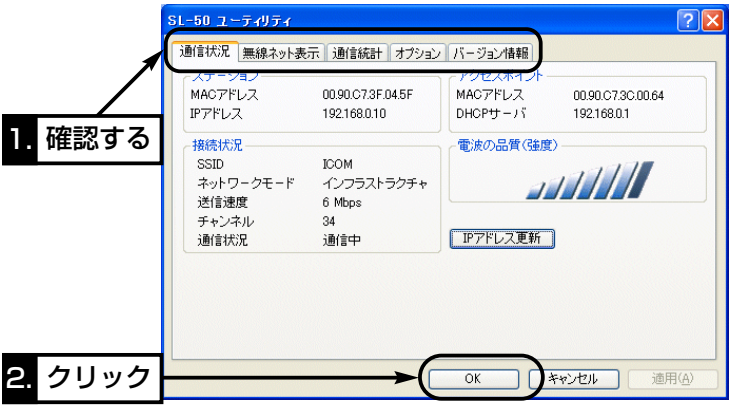
Windows XPをご使用の場合、本製品のドライバーと設定ユーティリティーをインストール後は、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続から本製品の設定を変更できるようになっています。

下記の手順で設定を変更すると、本製品の設定ユーティリティーから本製品の設定ができるようになります。

【変更の手順】

1.マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。

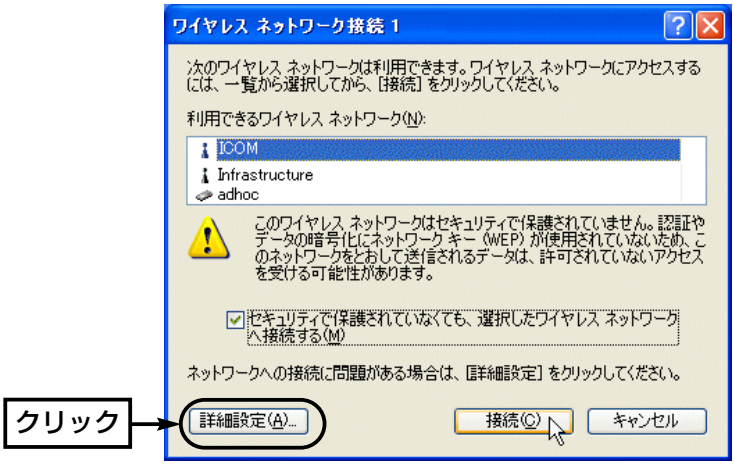
2.タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
※次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが表示されていない場合は、手順3.で設定を変更してください。



【変更の手順】(つづき)

3.「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で〈詳細設定(A)〉をクリックします。

●手順4.で記載する画面を表示します。



4.[Windows XPを使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する(W)]のチェックボックスをクリックして、チェックマークを外します。

5.〈OK〉をクリックします。

1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには

【変更の手順】(つづき)

6. 本製品の設定ユーティリティーを起動しなおします。

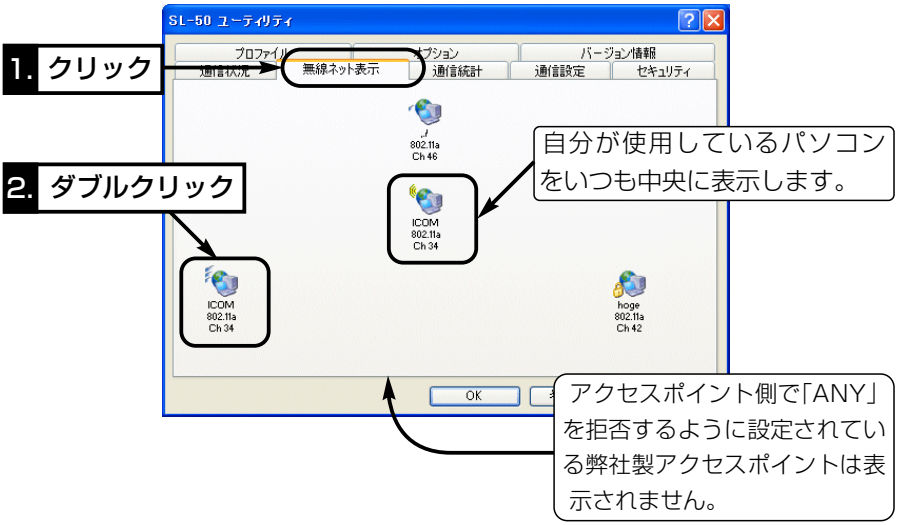
次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが追加されていれば、本製品の設定ユーティリティーで設定できます。

■設定ユーティリティーでワイヤレス接続する

Windows XPを例にワイヤレスネットワーク接続の手順を説明します。
設定ユーティリティーは、ほかのOSについても同じ操作です。

【確認の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
   常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。
2. タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
3. [無線ネット表示]タブをクリックすると、本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、その機器の情報が一覧で表示されます。
4. 本製品とワイヤレス接続したいアイコン上でダブルクリックします。
   ※選んだ無線ネットワーク名のアイコンに「🔒」マークが表示されているときは、[セキュリティ]タブで、暗号化を設定してください。
   設定しないときは、その機器と接続できません。



1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■設定ユーティリティーでワイヤレス接続する

【確認の手順】(つづき)

5. 〈はい〉をクリックします。

- 選択した機器の[SS ID]が本製品に自動設定されます。

※次回起動時は、現在通信中の機器に自動接続されますので、ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順1.～5.の操作をしてください。

※通信できないときは、[暗号化鍵(キー)]の入力に間違いがないことを確認してください。また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

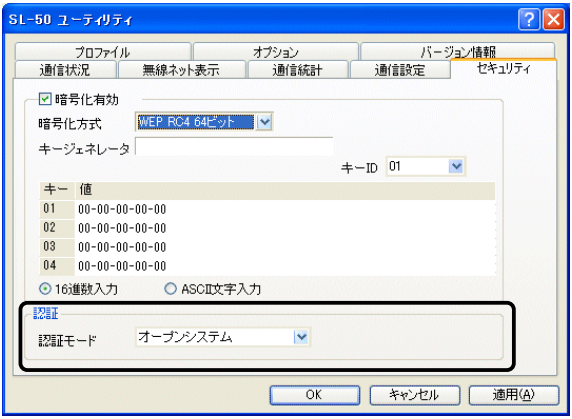
[無線ネット表示]タブで選択した相手の設定が[プロファイル]タブに保存されていると、[設定ファイルを読み込む]を選択できます。
この項目にチェックを入れると、プロファイルから通信相手の設定を読み込んで接続できます。

■認証モードについて

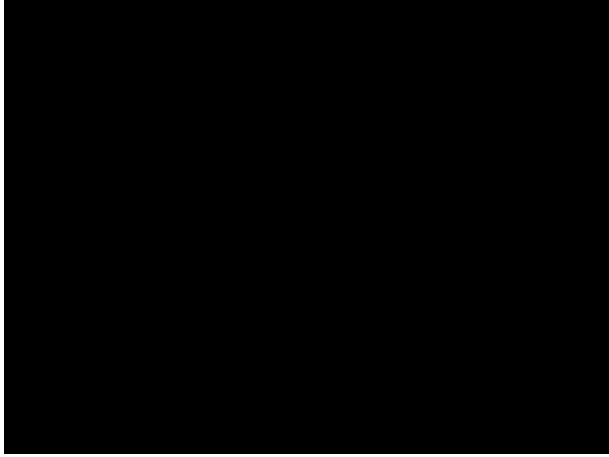
暗号化セキュリティーを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[セキュリティ]タブの[認証モード]項目で「シェアードキー」か「オート」を選択してください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



高品質がテーマです。



アイコム株式会社

本　　社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

A-6191I-4J

© 2002 Icom Inc.

ICOM®

ワイヤレス接続説明書

54Mbps
WAVEMASTER®

5GHz 無線LANカード
SL−50

この説明書は、本製品のワイヤレスネットワーク接続機能について説明しています。
取扱説明書と併せてご覧ください。

Icom Inc.

本書の構成について
1章：Windows XP用

ワイヤレスネットワーク接続を使う 1

もくじ

第1章 ワイヤレスネットワーク接続を使う ――――――1

1-1. Windows XP標準の
ワイヤレスネットワーク接続を使う ……1
■検索された無線ネットワーク名を
手動で追加して接続するには ……4
■検索されない無線ネットワーク名を
新規で追加するには ……7
■認証モードについて ……10
1-2. 本製品の設定ユーティリティーで
ワイヤレスネットワーク接続する ……11
■Windows XPで、本製品の
設定ユーティリティーを使用するには ……11
■設定ユーティリティーでワイヤレス接続する ……14
■認証モードについて ……15

ワイヤレスネットワーク接続を使う 1

本製品が接続されたパソコンの無線伝送エリア内で、本製品と通信可能な無線アクセスポイントやアドホックモードで通信する無線端末を検索して表示します。表示された無線アクセスポイントや無線端末に本製品をワイヤレス接続するには、次の2通りの方法があります。

■ Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(☞1-1章)

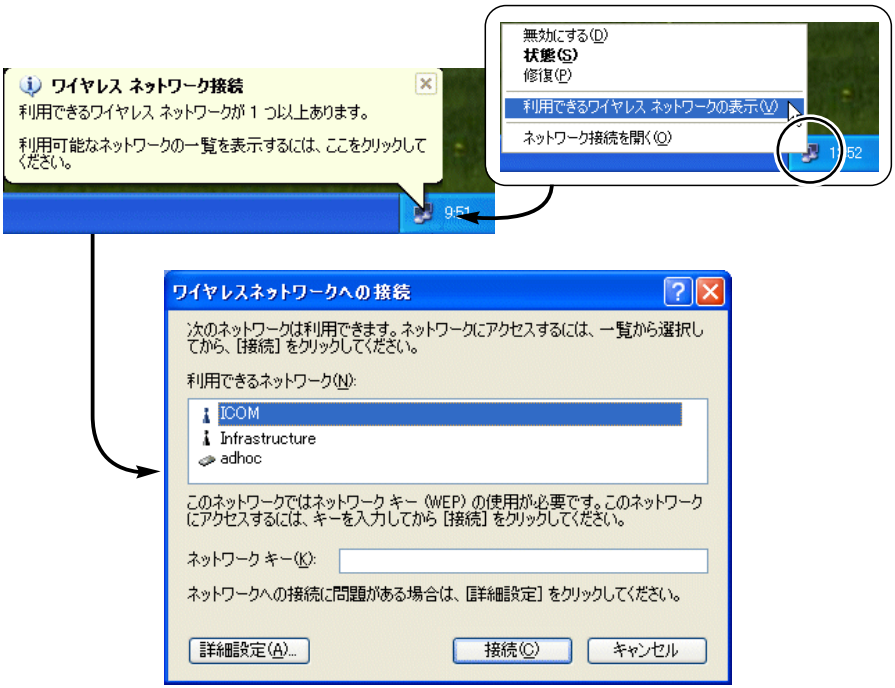
■ 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する(☞1-2章)

※本書で説明する機能を利用するには、本製品のドライバーとユーティリティーがVer.1.34以上であることをお確かめください。

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】

1. 本製品のドライバーをインストール後、Windows XPのタスクバーに[ネットワーク]アイコンが表示されます。
2. 画面の指示にしたがって操作するか、マウスカーソルを[ネットワーク]アイコン上で右クリックして表示されるメニューから「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」をクリックします。
   - 「ワイヤレスネットワークへの接続」画面を表示します。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

【接続の手順】(つづき)

3.本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、[利用できるネットワーク(N)]にその機器の無線ネットワーク名(SS ID)が表示されます。

※表示された無線ネットワーク名の左には、通信相手の[無線ネットワークモード]をアイコンで表示します。

※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。

4.本製品とワイヤレス接続したい無線ネットワーク名をクリックします。

※選んだ無線ネットワーク名の機器に暗号化が設定されている場合は、その機器の暗号化鍵(キー)を16進数(10桁または26桁)かASCII文字(5文字または13文字)で[ネットワークキー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(O)]に入力します。

5.〈接続(C)〉をクリックすると、その機器に接続して自動的に画面を閉じます。

● 選択した機器の[SS ID]や[WEP(キー)]の設定を本製品に自動設定します。

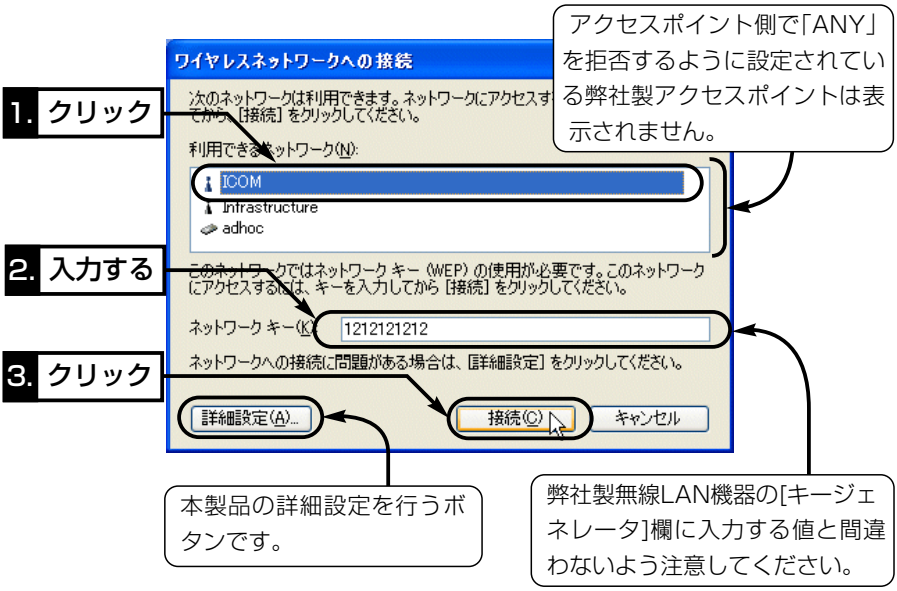
※ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順2.で[利用できるネットワーク(N)]から別の機器を選べます。

※選んだ機器と接続できないときは、タスクバーに手順2.の画面が再度表示されます。

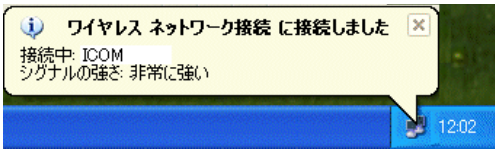
※通信できないときは、暗号化鍵(キー)の入力に間違いがないことを確認してください。

また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

【接続の手順】(つづき)



6.接続されると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。



本製品の設定は、「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の[優先するネットワーク(P)]に自動的に追加されます。

追加されると、次回起動時は、[優先するネットワーク(P)]中に表示される機器を上から順番に検索して、接続可能な機器に自動で接続します。

※「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の表示は、〈詳細設定(A)〉ボタンで表示できます。

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う(つづき)

【詳細設定について】

詳細設定(ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ)画面は、「ワイヤレスネットワークへの接続」画面の〈詳細設定(A)〉をクリックすると表示します。

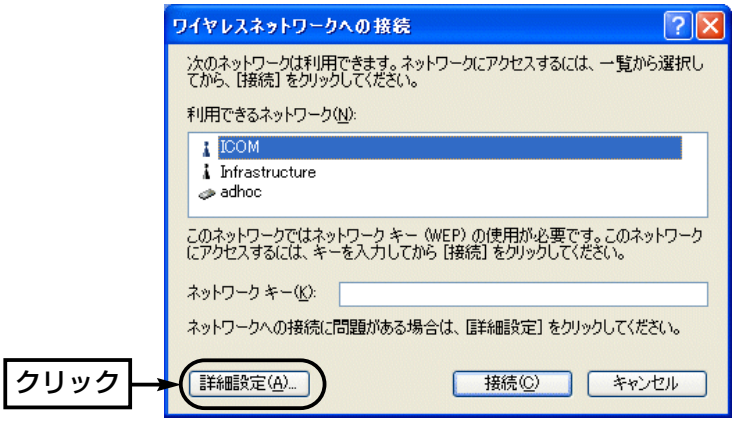
本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して接続したり、検索されない無線ネットワーク名を新規で追加できます。

■検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

本製品で検索された無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に手動で追加して本製品に接続する手順です。

【追加と接続の手順】

1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→〈詳細設定(A)〉の順番に操作します。

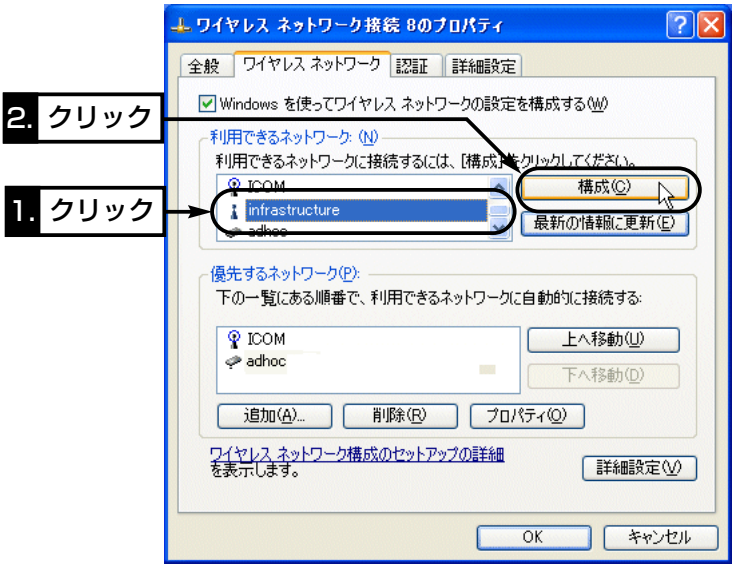


2.本製品と通信している無線ネットワーク名のアイコンには、「○」印が表示されますので、それ以外の無線ネットワーク名をクリックします。

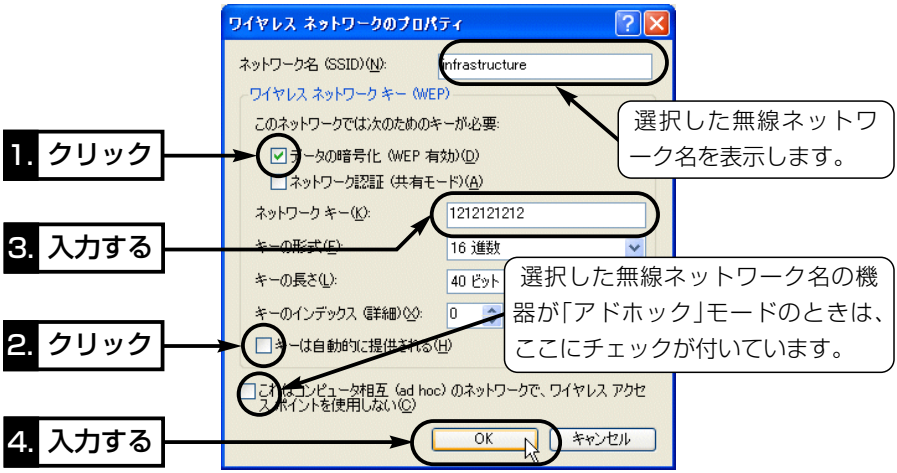
※選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に表示されている場合は、削除しないと追加できません。

【追加と接続の手順】(つづき)

3. 〈構成(C)〉をクリックします。



4. ネットワークキー(WEP)の設定が必要なときは、選択した無線ネットワーク名の機器に設定されたキーと同じものを[ネットワーク キー(K)]と[ネットワークキーの確認入力(O)]に入力してから、〈OK〉をクリックします。



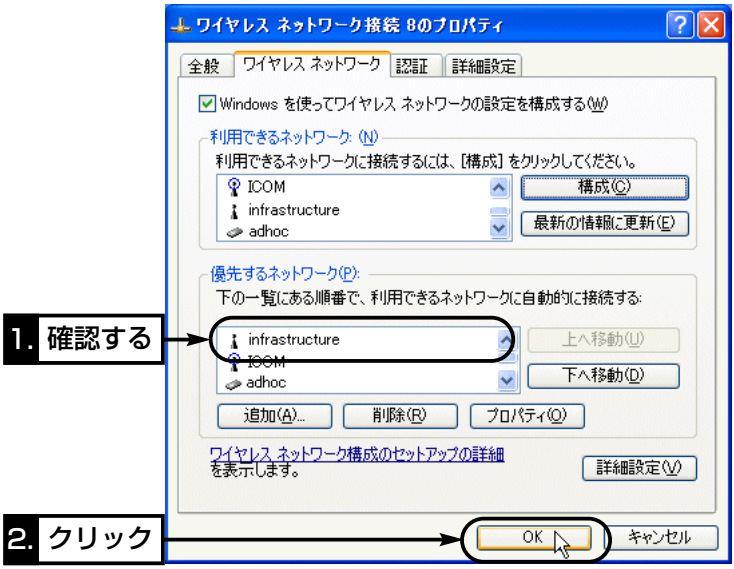
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

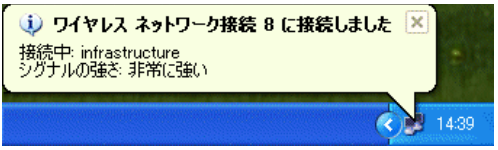
■検索された無線ネットワーク名を手動で追加して接続するには

【追加と接続の手順】(つづき)

5.選択した無線ネットワーク名が[優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックします。



6.接続が切り替わると、Windows XPのタスクバーに次の画面を表示します。

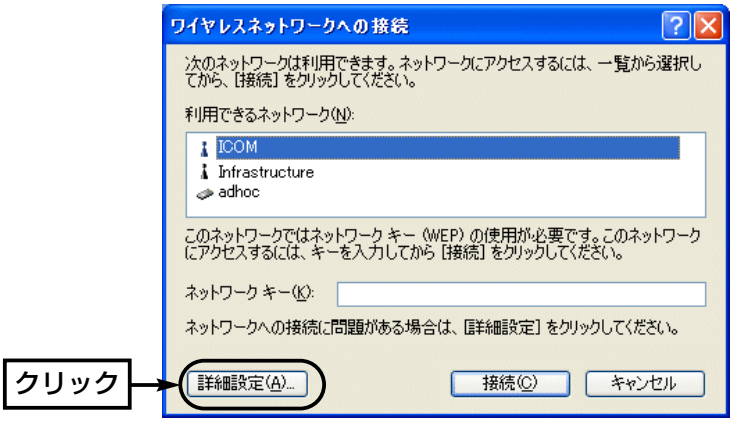


■検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

[利用できるネットワーク(N)]の中には表示されていない無線ネットワーク名を[優先するネットワーク(P)]に新規で追加するときの手順です。
次回起動時は、追加した機器を優先的に検索して接続されます。
追加した機器に接続できないときは、[優先するネットワーク(P)]に登録されているほかの機器を検索して接続します。

【追加の手順】

1.マウスを[ネットワーク]アイコン上で右クリック→「利用できるワイヤレス ネットワークの表示(V)」→〈詳細設定(A)〉の順番に操作します。



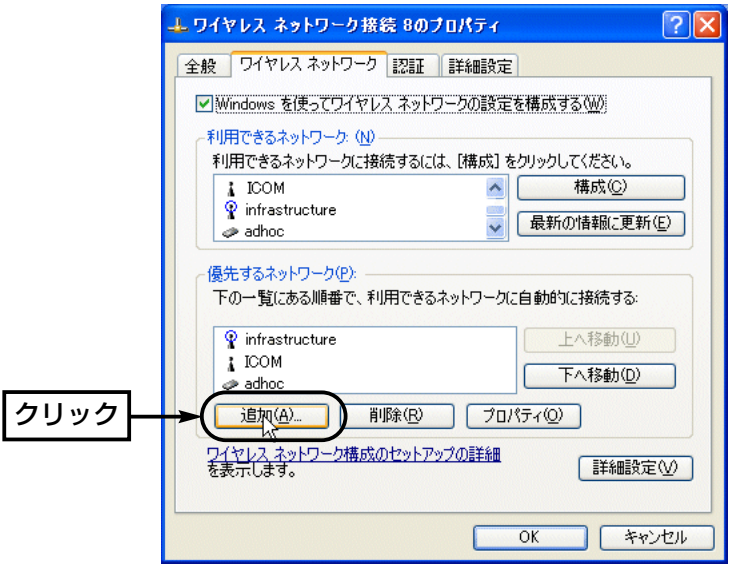
1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

2. 〈追加(C)〉をクリックします。



【追加の手順】(つづき)

3.[SS ID]や[WEP(キー)]を接続を予定する機器の設定条件にしたがって、設定します。

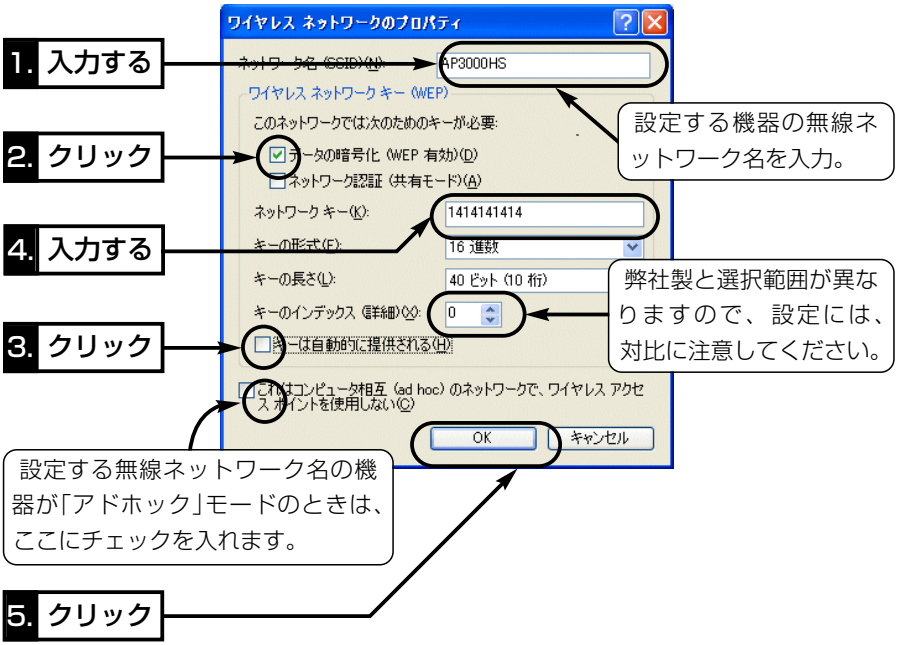
※弊社製ネットワーク機器の[ESS ID]は、Windows XPで表記されている[SS ID]と同じ意味として使用しています。

※Windows XPの[キーのインデックス(詳細)(X)]を選択できる範囲は、「0(1)～3(4)」です。カッコ( )内は、弊社製ネットワーク機器の[キー ID]を選択できる範囲で、[キーのインデックス(詳細)(X)]と[キー ID]は同じ意味として機能します。

例えば、[キー ID]が「1」のときは、[キーのインデックス(詳細)(X)]を「0」に設定すると同じ設定値として認識します。

※Windows XPの[キーの長さ(L)]の設定は、[ネットワークキー(K)]の入力に応じて自動選択されます。

[キーの長さ(L)]の設定が「40ビット(10桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:64ビット」に相当、[キーの長さ(L)]の設定が「104ビット(26桁)」の場合は、弊社製の機器で「RC4:128ビット」に相当します。



1 ワイヤレスネットワーク接続を使う

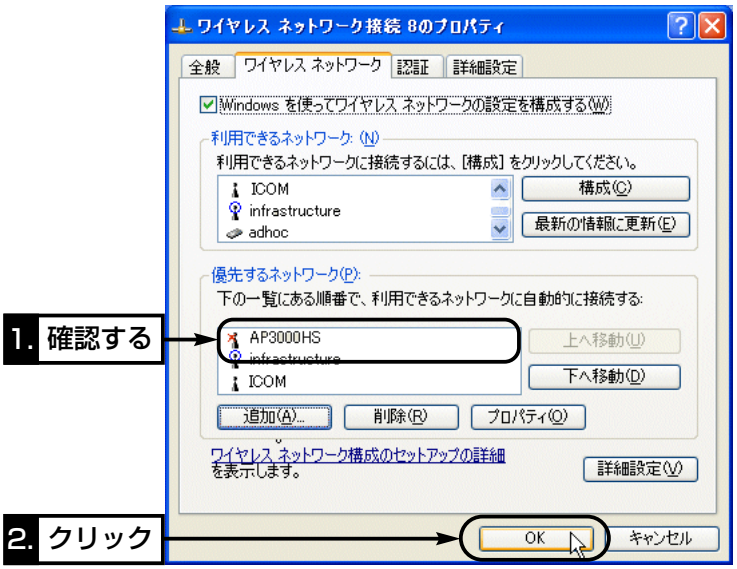
1-1. Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続を使う

■検索されない無線ネットワーク名を新規で追加するには

【追加の手順】(つづき)

4.[優先するネットワーク(P)]に追加されたことを確認して、〈OK〉をクリックすると完了です。

※追加された無線ネットワーク名のアイコンに表示される「×」印は、検索できないとき表示され、次回起動時に検出されると「×」印は消えます。

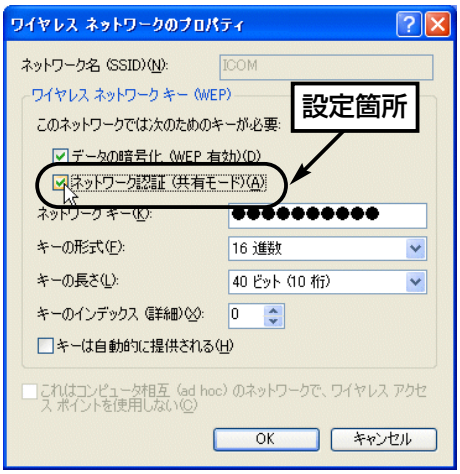


■認証モードについて

WEPセキュリティーを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[ネットワーク認証(共有モード)(A)]にチェックマークを入れてください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続(☞1-1章)を使用しない場合や、ご使用になるOSがWindows XP以外の場合は、本製品の設定ユーティリティーを使用してワイヤレスネットワーク接続できます。

■Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには

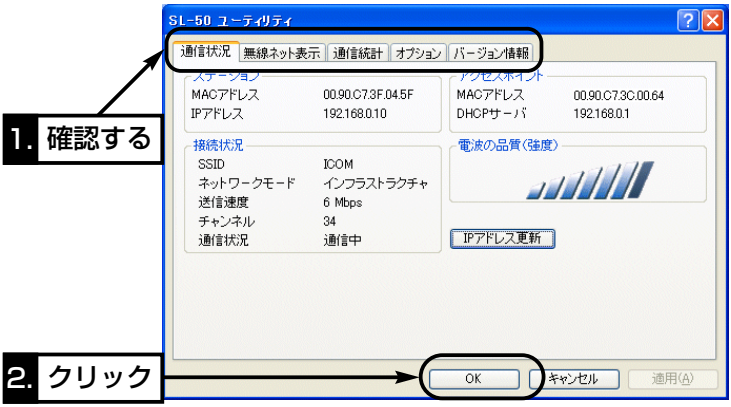
Windows XPをご使用の場合、本製品のドライバーと設定ユーティリティーをインストール後は、Windows XP標準のワイヤレスネットワーク接続から本製品の設定を変更できるようになっています。

下記の手順で設定を変更すると、本製品の設定ユーティリティーから本製品の設定ができるようになります。

【変更の手順】

1.マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。

2.タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
※次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが表示されていない場合は、手順3.で設定を変更してください。



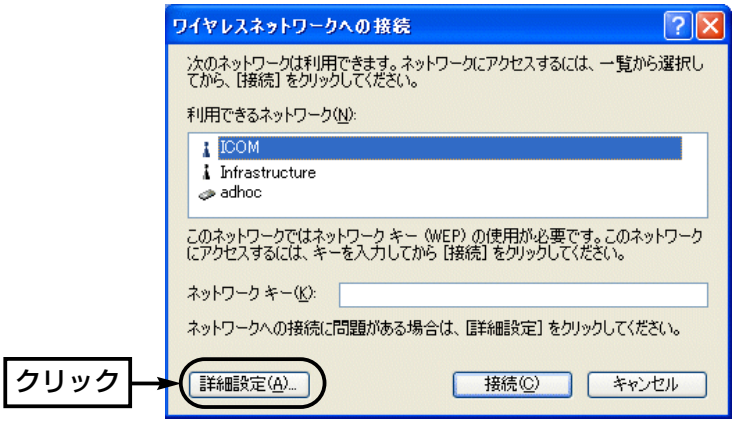
1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■ Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには

【変更の手順】(つづき)

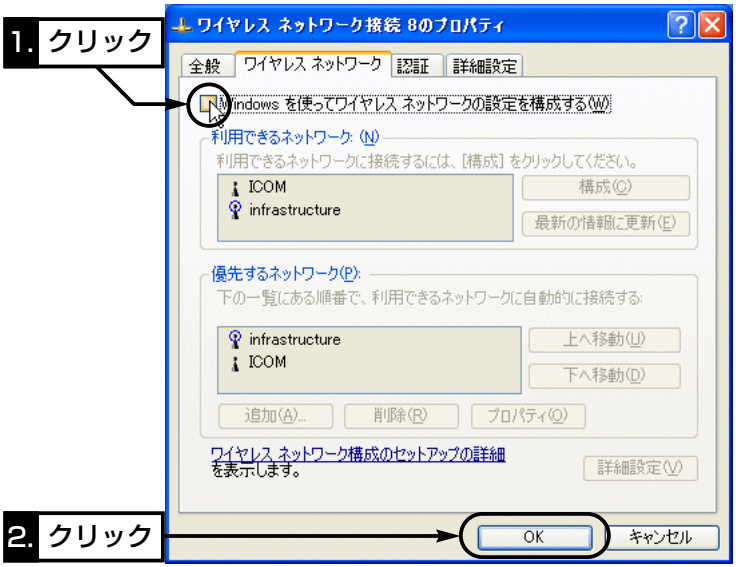
3.「ワイヤレスネットワークへの接続」画面で〈詳細設定(A)〉をクリックします。

- 手順4.で記載する画面を表示します。



4.[Windows XPを使ってワイヤレス ネットワークの設定を構成する(W)]のチェックボックスをクリックして、チェックマークを外します。

5.〈OK〉をクリックします。



■Windows XPで、本製品の設定ユーティリティーを使用するには

【変更の手順】(つづき)

6.本製品の設定ユーティリティーを起動しなおします。

次の画面のように、[通信設定]、[セキュリティ]、[プロファイル]のタブが追加されていれば、本製品の設定ユーティリティーで設定できます。

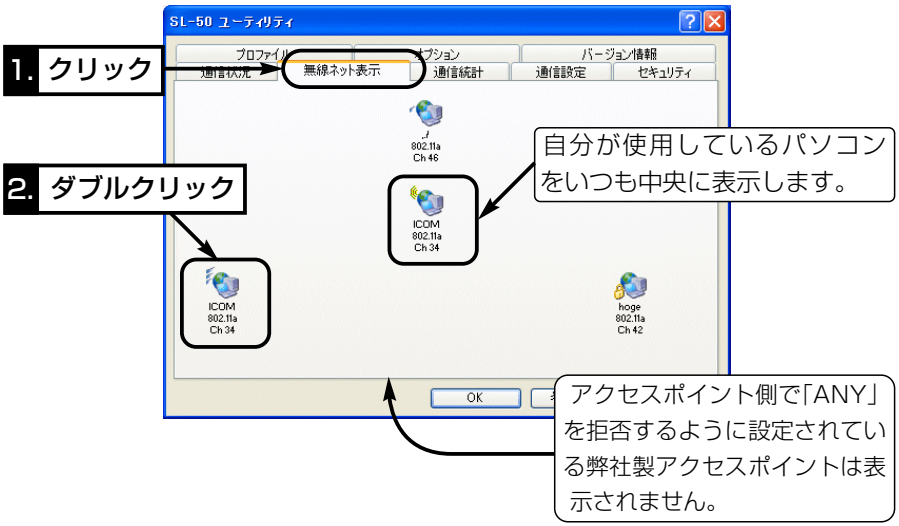
1-2. 本製品の設定ユーティリティーでワイヤレスネットワーク接続する

■設定ユーティリティーでワイヤレス接続する

Windows XPを例にワイヤレスネットワーク接続の手順を説明します。
設定ユーティリティーは、ほかのOSについても同じ操作です。

【確認の手順】

1. マウスを〈スタート〉→[プログラム(P)]→[本製品名 Utility]の順に操作して、設定ユーティリティーを起動します。
   常駐を示すアイコンがタスクバーの上に表示され、起動が完了します。
2. タスクバー上に表示されたアイコンを右クリックして表示するメニューから、「モニターを表示」を選択します。
3. [無線ネット表示]タブをクリックすると、本製品の無線伝送エリア内に、通信可能な無線アクセスポイントおよびアドホックモードで通信するパソコンが存在する場合は、その機器の情報が一覧で表示されます。
4. 本製品とワイヤレス接続したいアイコン上でダブルクリックします。
   ※選んだ無線ネットワーク名のアイコンに「🔒」マークが表示されているときは、[セキュリティ]タブで、暗号化を設定してください。
   設定しないときは、その機器と接続できません。



【確認の手順】(つづき)

5. 〈はい〉をクリックします。

- 選択した機器の[SS ID]が本製品に自動設定されます。

※次回起動時は、現在通信中の機器に自動接続されますので、ほかの機器に通信を切り替えるときは、手順1.～5.の操作をしてください。

※通信できないときは、[暗号化鍵(キー)]の入力に間違いがないことを確認してください。また、Pingコマンドなどでも接続を確認できます。

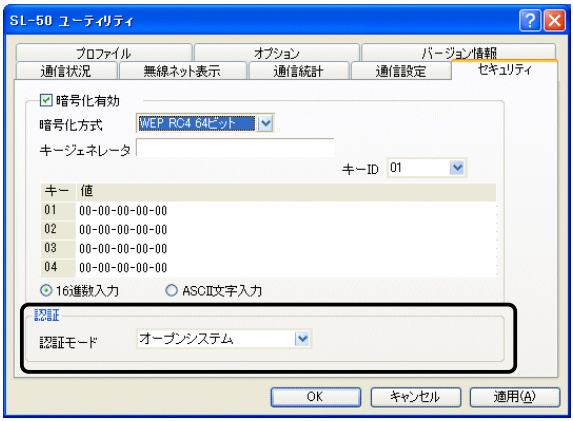
[無線ネット表示]タブで選択した相手の設定が[プロファイル]タブに保存されていると、[設定ファイルを読み込む]を選択できます。
この項目にチェックを入れると、プロファイルから通信相手の設定を読み込んで接続できます。

■認証モードについて

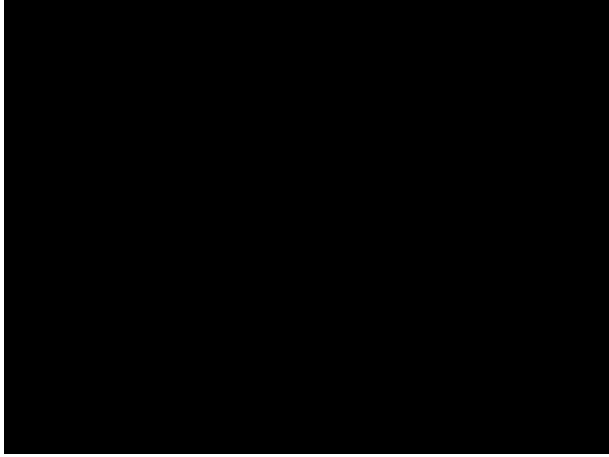
暗号化セキュリティーを使用する場合、通信する機器間で[認証モード]が異なると通信できません。

「シェアードキー」認証の場合は、[セキュリティ]タブの[認証モード]項目で「シェアードキー」か「オート」を選択してください。

※機器によっては、認証方式を選択できない場合がありますので、本製品の設定を変更してみるなどして通信を確認してください。



高品質がテーマです。



アイコム株式会社

本　　社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。

A-6191I-4J

© 2002 Icom Inc.